

岐阜県博物館報

第42号

2019
岐阜県博物館

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

平成 30 年度は館内での展覧会（特別企画展、特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を開催しました。

特別企画展「兼定 刀都・関の名工」（4 月 27 日～6 月 24 日）では、兼定銘きっての名工として知られる兼定の作刀や会津兼定十一代の作品等を多数展示したところ、県内はもとより全国各地からおよそ 2 万人もの刀剣ファンが集い、その魅力を堪能されました。

特別展「理科室からふるさとの自然をみつめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」(7 月 6 日～9 月 2 日) では、県内の大学や高等学校が所蔵していた戦前の動物標本や当館が所蔵する標本等を多数展示し、生物標本の役割や面白さを知り、岐阜県の多様な自然のすばらしさを感じていただく機会となりました。

特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家一大御乳・池田恒興・輝政の戦い」(9 月 14 日～11 月 11 日) では、美濃に関わりの深い戦国大名池田氏を軸として 3 人の天下人に関する文化財を展示し、織豊政権・徳川政権の形成に岐阜の地が果たした役割を学ぶ機会となりました。

企画展「化石が語る繁栄と絶滅～瑞浪層群の哺乳類化石～」(11 月 23 日～31 年 1 月 27 日) では、瑞浪層群から産出する新生代の哺乳類等の化石を多数展示し、新生代の頃の岐阜県の自然へ思いを巡らせました。

さらに、連携企画展として岐阜県図書館にて「歌川国芳 木曾街道六十九次」(11 月 2 日～11 月 25 日、12 月 12 日～12 月 27 日) 及び「芝居大国！岐阜」(1 月 12 日～3 月 10 日) を、また岐阜大学図書館にて「天然記念物の祖 三好 学」(10 月 10 日～11 月 12 日) を、さらには移動展として飛騨高山まちの博物館にて「恐竜の世界～小田 隆が描く古生物の姿～」(4 月 11 日～6 月 10 日) を開催しました。

そのほか展覧会に関連する講演や三重県総合博物館 (MieMu) 交流企画の講演、当館学芸員や館外の著名な研究者による講演等、全 21 回の講演会を実施しました。これらの講演会を通して当館学芸員の調査研究や各分野の最先端の研究について、県民の皆様にお伝えする場を提供することができました。

平成 31 年度は、特別展「^{けんのせいりいはつこうをつらぬく} 剣精霊貫白虹 幕末美濃の剣豪と名刀」では、^{よこくら き そうじ} 横倉喜三次を中心に幕末美濃の群像を取り上げ、名工・源清麿や美濃の御勝山永貞の名刀など幕末から明治期の新々刀を紹介し、令和改元記念事業の特別展「岐阜は日本のど真ん中ー岐阜県植物誌は語るー」では、このほど完成した岐阜県植物誌に示された植物の分布状況を根拠とし、岐阜が日本のど真ん中であることを新たな岐阜の魅力として紹介します。企画展「ひだの地質紀行ーようこそ自然豊かな飛騨の大地へー」では、当館が所蔵する標本を中心に展示し、自然豊かな飛騨地方の大地の姿を紹介するとともに、企画展「岐阜の城館探訪ー城が語る郷土の歴史ー」では、県内に 800 か所もある城館跡の調査成果からこの地域の歴史を見直していきます。

このほか、博物館・図書館連携企画展「岐阜の山城調査ーフィールドワークの魅力ー」及び「清流長良川ー鮎を育む自然と文化ー」、移動展「ヒアリがやってくるー外来生物とはなにものかー」等、館外で開催する展覧会も計画しています。また、三重県総合博物館 (MieMu) の交流企画講演会を含む全 19 回の講演会を開催するなど、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携イベント、收藏品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、平成 30 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 42 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 31 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 平井克昭

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 令和元年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 平成30年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	10
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	11
6 調査研究活動	24
7 資料収集活動	28
8 教育普及活動	29
9 利用状況	40
10 博物館関係団体	41

IV 利用案内（令和元年度）

42

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
 - ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
 - ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
 - ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
 - ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
 - ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
 - ・解説が明確で分かりやすい展示
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
 - ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
 - ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
 - ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
 - ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。
- ### (3) 調査研究活動
- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
 - ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。
- ### (4) 教育普及活動
- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
 - ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
 - ・サポーターとの協働活動を推進する。
 - ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

		昭和61年 4月	特別展「徳山の四季とくらし」		風土記 イメージシュミレーションソフトの完成
		7月	特別展「奥飛騨の自然」	平成6年 1月	20日マイ・ミュージアム棟竣工式
		9月	人文展示室1を改装	3月	大型ほ類足跡化石を展示
昭和46年 3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	10月	開館 10周年記念式典を挙行	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」
	4月		開館 10周年記念展「ふるさとの祭り」	8月	恐竜の齒等荘川村で発見
	6～9月		特別展「飛騨の弥生時代」	9月	特別展「美濃山地の自然」
昭和47年 4月	博物館懇談会を設ける		入館者 110万人を突破	10月	入館者 160万人を突破
	博物館開設準備室を設置		特別展「外国から侵入した生きものたち」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95 展示化石の借用、交流の推進）
昭和48年 8月	起上式挙行		特別展「飛騨の匠」	平成7年 3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成
昭和49年 3月	展示実施計画樹立		旧徳山村民家移築復元		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編」ソフト完成
	10月		自然展示室1を改装	4月	特別展「岐阜の淡水魚」
昭和50年 3月	展示工事着手		特別展示室ショーケース改修		花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
	7月		特別展「ふるさとの湿原」	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行
昭和51年 1月	展示工事完了		中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
	4月		特別展「中生代の化石」	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」
	5月		入館者 120万人を突破		入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）
	「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	平成元年 4月	特別展「濃飛の古墳時代」		県下第1号として「マルチメディア工房さふ」開設
	7月	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	11月	円空シンポジウム「世界における円空」
	8月	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	平成8年 4月	高校生常設展入館料無料化
	10月	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	5月	入館者 170万人を突破
	11月	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	7月	開館 20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
昭和52年 5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」	平成2年 4月	特別展「輪中と治水」	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
	入館者 20万人を突破	7月	特別展「白山の自然」	10月	飛騨美濃合併 120周年記念展「岐阜県の明治維新」
	7月		特別展「濃飛の甲冑」	11月	飛騨美濃合併 120周年記念「文化講演会」
	11月		特別展「世界のコガネムシ」		講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏
昭和53年 4月	特別展「郷土の化石展」		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	平成9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
	特別展「鉄斎」		岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	4月	中山道編ソフト完成
	入館者 30万人を突破	10月	特別展「濃飛の仏像」	9月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
	特別展「濃飛の文人」	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	11月	特別展「葉草のふるさと伊吹」
	特別展「世界のコガネムシ」	平成3年 3月	岐阜県博物館案内標識を設置		入館者 180万人を突破
	特別展「能面と装束」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」		棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
	入館者 40万人を突破	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	平成10年 3月	財団法人日本博物館協会表彰
	特別展「濃飛の先史時代」	10月	置県 120年・岐阜県鹿兒島姉妹県盟約 20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
	特別展「世界の貝」	11月	入館者 140万人を突破		飛騨街道・郡上街道編ソフト完成
	特別展「濃飛の文人」	平成4年 3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		アロサウルス骨格標本展示
	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
昭和55年 4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」		完成記念事業：風土記
	5月		特別展「近世に輝く濃飛の群像」		
	入館者 50万人を突破		小中学生常設展入館料無料化		
	7月		入館者 150万人を突破		
	特別展「化石の世界」	平成5年 3月	特別展「土と炎の芸術」		
	特別展「叢虫山人」	4月	特別展「29日大型ほ類足跡化石を美濃加茂市で発掘」		
	特別展「美濃の絵馬」	9月	特別展「失われゆく植物」		
	入館者 60万人を突破		「ハイパーハイビジョン		
	7月		特別展「ふるさとの美濃古陶」		
	特別展「御岳山は生きている」		特別展「高賀山の信仰」		
	10月		入館者 70万人を突破		
	特別展「ふるさとの美濃古陶」		特別展「ふるさとの植物」		
昭和57年 4月	特別展「高賀山の信仰」		特別展「東洋の貨幣」		
	入館者 70万人を突破		特別展「岐阜県の考古遺物」		
	7月		入館者 80万人を突破		
	特別展「ふるさとの木文化」		特別展「長良川」		
	特別展「濃飛の先史時代」		特別展「郷土の生んだ先覚者」		
	特別展「世界の貝」		特別展「濃飛の戦国武将」		
	特別展「濃飛の文人」		特別展「ふるさとの昆虫」		
	「視覚障害者（触察）コーナー」開設		入館者 90万人を突破		
	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		学習ビデオスタディーコーナーを設置		
	5月		特別展「濃飛の蘭学」		
	入館者 50万人を突破		特別展「濃飛の縄文時代」		
	7月		特別展「鉾物の世界」		
	特別展「美濃の絵馬」		特別展「美濃の刀剣」		
	入館者 60万人を突破		入館者 100万人を突破		
	7月		自然展示室2を改装		
	特別展「御岳山は生きている」				
	10月				
	特別展「ふるさとの美濃古陶」				
	特別展「高賀山の信仰」				
	入館者 70万人を突破				
	7月				
	特別展「ふるさとの植物」				
	特別展「東洋の貨幣」				
	特別展「岐阜県の考古遺物」				
	入館者 80万人を突破				
	7月				
	特別展「長良川」				
	特別展「郷土の生んだ先覚者」				
	10月				
	特別展「濃飛の戦国武将」				
	特別展「ふるさとの昆虫」				
	入館者 90万人を突破				
	10月				
	学習ビデオスタディーコーナーを設置				
	特別展「濃飛の蘭学」				
	特別展「濃飛の縄文時代」				
	特別展「鉾物の世界」				
	特別展「美濃の刀剣」				
	入館者 100万人を突破				
	12月				
	自然展示室2を改装				

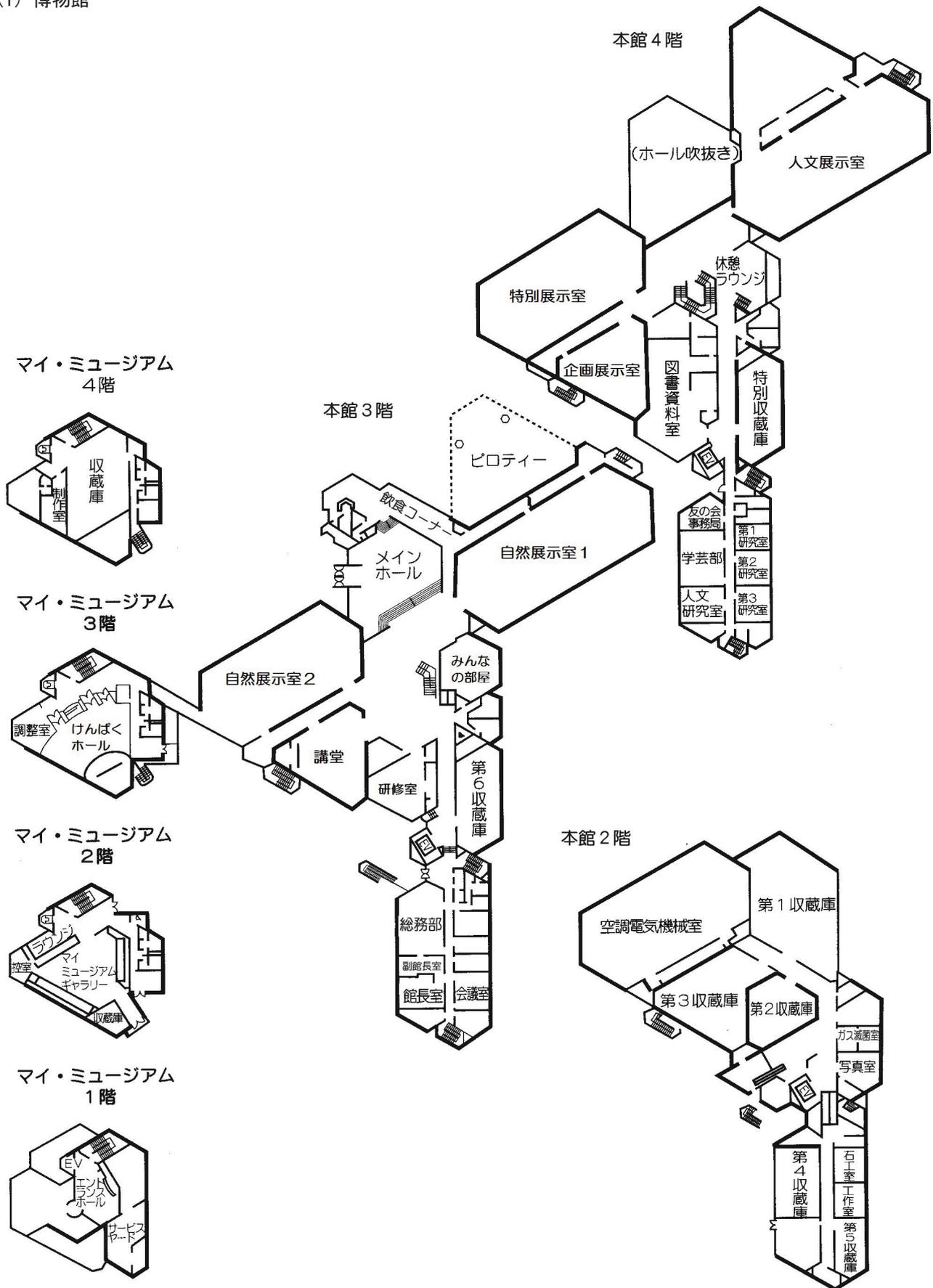
	フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」		石器時代～大昔はどんな暮らしをしていたの？～		仰と造形 「岐阜・染と織の匠たち」特別展
7月	特別展「つのかぶとむし」	9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅーん～」	平成25年9月	特別展 「弥生大集落 一荒尾南遺跡が語るモノと心」
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	平成17年4月	高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）	平成26年2月7月	入館者280万人を突破 特別展 「奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学」
平成11年7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	5月	入館者230万人を突破	9月	特別展 「里山いま昔 一人と自然 あらたな“絆”を求めて」
9月	入館者190万人を突破 特別展「恐竜時代」	7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	平成27年4月	百年公園駐車場を無料化 特別展 「天下人の時代 ～信長・秀吉・家康と美濃～」
10月	特別展入館者4万人突破 特別展「水とまつり～古代人の祈り～」	平成18年4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展 「緑いきいき！岐阜の森」	4月	特別展 「自然のくすり箱 ～菓草とわたしたちの暮らし～」
平成12年7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待 入館～	平成28年7月	飛騨美濃合併140周年 岐阜県博物館開館40周年記念特別展 「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	8月	入館者290万人を突破 カリコテリウム類の化石（国内初発見）特別展示 飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展 「東海地方の円空仏」
11月	入館者200万人を突破	9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	平成29年4月	SNS開設
平成13年7月	特別展「あこのろいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	平成19年7月	文化の日博物館無料開放 特別展 「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	7月	民間施設連携開始 特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」
9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	9月	中濃地域連携企画展 特別展「壬申の乱の時代～美濃国・飛騨国の誕生に迫る」
11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」（マイミュージアムギャラリー） 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001 グランプリ受賞	10月	入館者250万人を突破	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設
平成14年2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	11月	文化の日博物館無料開放開始	12月	収蔵品選集製作
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	平成20年5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊の寄贈を受ける	平成30年4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	9月	特別展「骨のあるやつ」	5月	入館者300万人を突破
5月	入館者210万人を突破	平成21年9月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」	7月	特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」
10月	特別展「中山道街道400年」	平成22年7月	入館者260万人を突破 特別展「川ーカワ・イイね！～流れが作り出す自然～」	9月	博物館機能の全県展開本格稼働
平成15年7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」	平成23年9月	開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」		
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、菓草の魅力～」	11月	入館者270万人を突破		
10月	入館者220万人を突破	平成24年7月	特別展「ジオペディアぎふ」		
平成16年7月	特別展「タイムトラベル	9月	特別展「飛騨・美濃の信		

5 歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏名		在職期間（年度）	氏名
1	昭和51年	小幡 忠 良	14	平成13年～平成14年	高橋 宏 之
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克 美	15	平成15年～平成16年	武山 栂 司
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔	16	平成17年	下畑 五 夫
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹 彦	17	平成18年	古川 和 明
5	昭和59年	関谷 美智男	18	平成19年～平成20年	高屋 一 行
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照 夫	19	平成21年	浅野 裕 司
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利 光	20	平成22年	石田 克
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀 幸	21	平成23年～平成24年	河合 正 明
9	平成3年～平成4年	篠田 幸 男	22	平成25年～平成26年	後藤 弘 之
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男	23	平成27年	杉原 茂 男
11	平成7年～平成8年	清水 廣 美	24	平成28年	水谷 淳 子
12	平成9年～平成10年	高田 晃	25	平成29年	中島 守
13	平成11年～平成12年	遠藤 祐 神	26	平成30年	平井 克 昭

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4			
	研修室	174.5	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	第6収蔵庫	93.2			
		142.8			
4階	人文展示室	942.3	4階	収蔵庫等	281.3
	特別展示室	478.8			
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

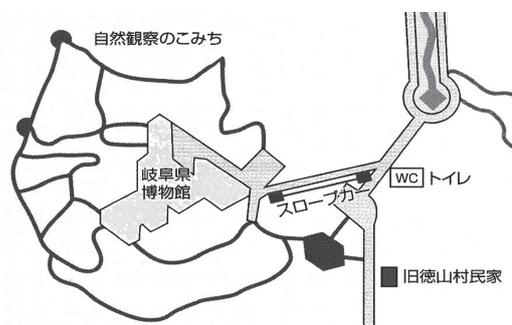
(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



自然観察のこみち

② 旧徳山村民家

徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった（揖斐川町に合併）が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和 62 年 10 月 7 日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開している。

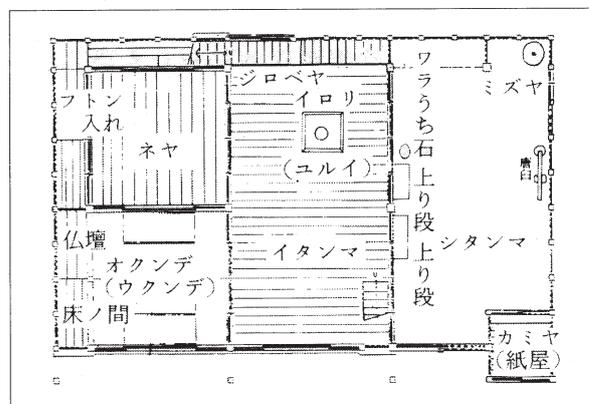
平成 13 年 9 月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

平成 30 年 11 月、国登録有形文化財に登録された。

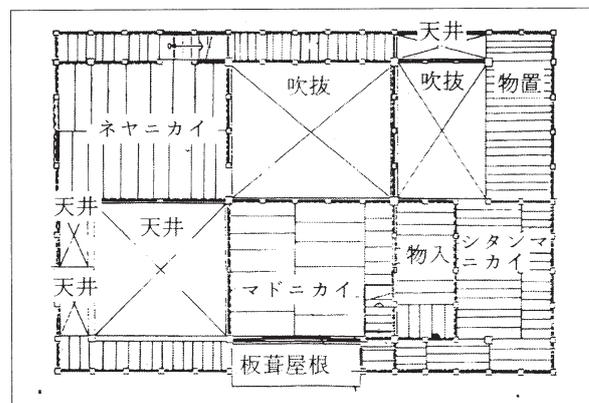
- ・様式：木造かやぶき 2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97 ㎡
- ・延面積：197.48 ㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



▲ 1階間取り図

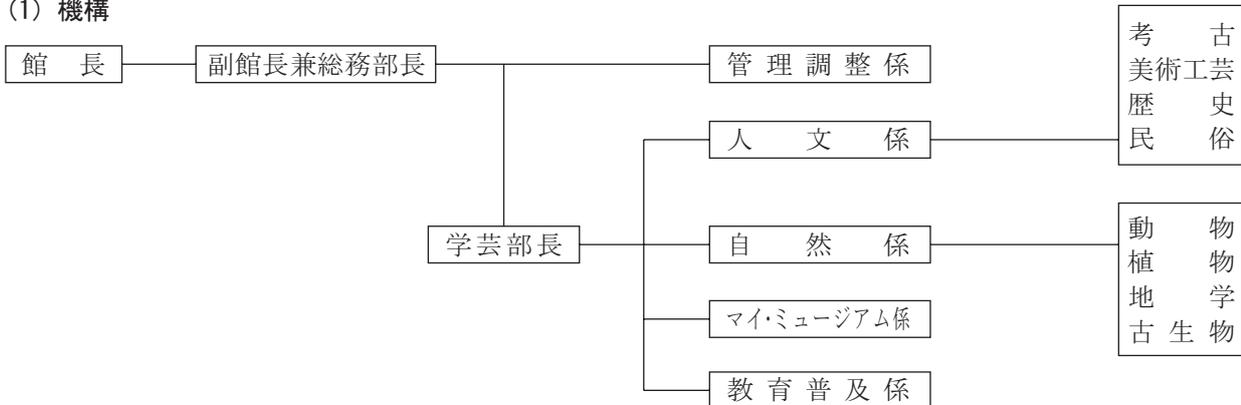


▲ 2階間取り図

II 令和元年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	平井 克昭	【学芸部】 学芸部長 兼マイ・ミュージアム係長	山田 昭彦	[マイ・ミュージアム係] 主査	金子 好孝 竹中 初男 益田 豊
副館長兼総務部長	今瀬 千秋	[人文係] 課長補佐(考古) 主査(美術)工芸 " (歴史) " (民俗)	長屋 幸二 立花 昭 近藤 大典 南 本有紀	[教育普及係] 課長補佐 主査 学芸業務専門職 " " 管理業務専門職 " " " " "	渡邊 寛樹 吉田 泰久 井上 好章 橋本 清菜 鈴木 春美 坪井 宏美 長田 麻友子 加藤 章 福島 江里菜 倉橋 美紀子 鈴木 奈おみ
【総務部】 [管理調整係] 課長補佐 主査 主任 主事 " 会計・人事労務業務専門職 雇員	大野 英悟 柴田 香美 小池 明美 佐藤 宏紀 市村 祥祥 小野 真紀 石田 邦子	[自然係] 課長補佐(地学) " (植物) 主査(動物) 主任(古生物)	松本 正樹 可児 美紀 説田 健一 高津 翔平		

(3) 異動(平成31年4月1日)

転出者 (退職者)	副館長 課長補佐 " 主査 主任	(小野 精三) 岡田 秀利 土田 牧也 守屋 靖裕 日比野 新	転入者	副館長 課長補佐 " 主査 主任 雇員	今瀬 千秋 大野 英悟 渡邊 寛樹 立花 昭 小池 明美 石田 邦子

2 展示活動

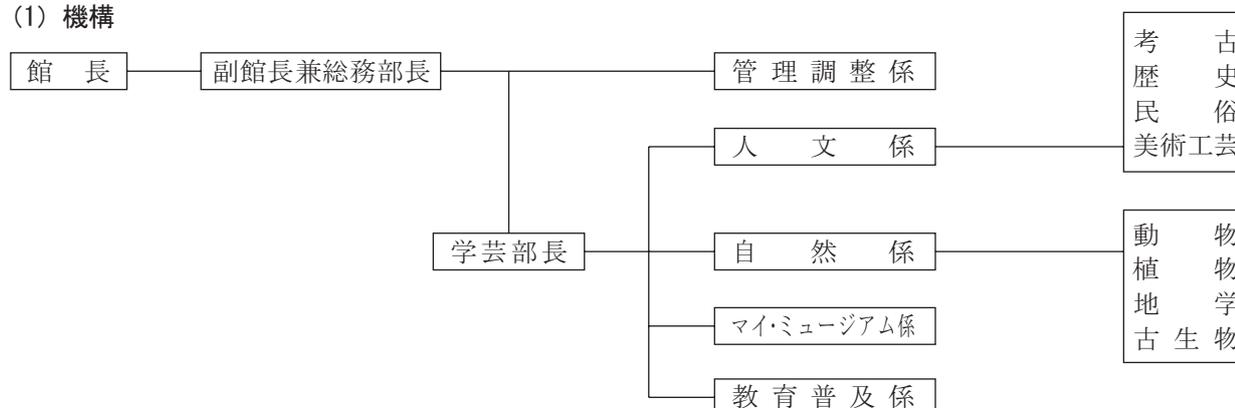
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室1では「郷土の自然と私たち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
企画展 「ひだの地質紀行 ―ようこそ自然豊かな飛騨の大地へ―」	4/27 (土) ～6/23 (日)	岐阜県北部の飛騨地方は、国内でも最古級の岩石や日本最古の化石、恐竜の化石などが発見された地域であり、まさに日本列島の骨格となる大地が広がる地域です。また、北アルプスの山々が連なる豊かな自然は、様々な生物や人々の暮らしに恩恵をもたらしています。当展では、この自然豊かな飛騨地方の大地の姿を当館が所蔵する標本を中心に展示し、飛騨地方のすばらしい大自然を紹介します。
博物館・図書館連携企画展 「岐阜の山城調査 ―フィールドワークの魅力―」	4/27 (土) ～6/19 (水)	山中に残る山城跡及び平地の館跡などの城館跡は、地域の歴史を物語る重要な文化財です。岐阜県内に800か所以上も確認されている城館跡は、山城の堀や曲輪、土塁などの施設が地表面で観察できることから、興味があれば誰もが研究者となりうる身近な研究対象といえます。本展では、平成8年度から16年度にわたって岐阜県教育委員会が行った「岐阜県中世城館跡総合調査」などの成果を展示しながら、山城調査の意義や魅力を紹介します。
博物館・岐阜大学連携企画展 「Historia Universitatis Gifuensis ―岐阜大学70年のあゆみ―」	岐阜大学会場 5/28 (火) ～8/23 (金) 岐阜県博物館会場 9/28 (土) ～11/10 (日)	県内唯一の国立大学である岐阜大学は、長年の研究の中で得た学術的に貴重な資料を有しています。さらにこれらの資料は、岐阜大学の歴史を語るうえで重要な資料です。今回の連携企画展では、岐阜大学創立70周年記念岐阜大学学術アーカイブズのスタートを記念し、県博物館の全県展開の一環として、岐阜大学の歴史や現在の姿を県博物館や岐阜大学が所蔵する資料で紹介し、岐阜大学の歩みや岐阜県に根差した大学の姿を紹介します。
移動展 「ヒアリがやってくる ―外来生物とはなにものか― (会場：飛騨高山まちの博物館)	6/29 (土) ～8/25 (日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られます。その一方で、アライグマなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えています。当展では、当館が所蔵する外来生物の剥製等を中心に標本資料を展示することで岐阜県で見られる外来種の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考えます。
特別展 「剣精霊貫白虹 ―幕末美濃の剣豪と名刀―」	7/12 (金) ～9/8 (日)	幕末動乱期、江戸と京の間に位置する美濃には、水戸天狗党や東山道鎮撫隊、和宮降嫁の往来があり、一党が敵味方に分かれる郡上・凌霜隊や高須四兄弟の悲劇がありました。新選組・近藤勇を斬首した旗本岡田家剣術指南役・横倉喜三次を中心に、幕末美濃の群像を取り上げ、併せて、この時代の名工・源清麿や美濃の御勝手山永貞の名刀などを展示して、幕末から明治期の新々刀を紹介します。
令和改元記念事業 特別展 「岐阜は日本のど真ん中 ―岐阜県植物誌は語る―」	9/20 (金) ～11/17 (日)	令和元年の今夏、平成時代のおよそ20年の歳月を費やした「岐阜県植物誌」が発刊されました。当館所蔵資料を中心におよそ13万点もの植物標本を用いた調査研究が進められ、完成したこの岐阜県植物誌には、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画の紹介があり、全国に誇る質の高い植物誌です。当展では、この岐阜県植物誌に示された植物の分布状況を根拠とし、岐阜が「日本のど真ん中」であることを、新たな岐阜の魅力として紹介します。
企画展 「岐阜の城館探訪 ―城が語る郷土の歴史―」	11/23 (土・祝) ～1/26 (日)	お城は歴史的出来事の舞台であり、地域の歴史を語る証人です。現在も地域のシンボリックな役割を担っているものも少なくありません。岐阜県内には800か所もの城館跡があり、各地で発掘調査も行われています。当展では、県内の特徴的な城館跡の調査成果から、当該地域の歴史を見直していきます。
博物館・図書館連携企画展 「清流長良川 ―鮎を育む自然と文化―」	1/18 (土) ～3/15 (日)	長良川流域における人々の生活、水循環、漁業資源が関連する里川のシステムは、世界にも特殊性があると評価され、平成27年12月に、「清流長良川の鮎(長良川システム)」として、世界農業遺産に登録されました。当展では、長良川の多様な自然のあらし、鵜飼などの伝統漁法、水とつながる伝統工芸品を中心に展示し、世界農業遺産に指定された長良川の自然と文化を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「《久松真一記念館・抱石庵移動展》 「知の巨人」 久松真一『禅と芸術』の世界」	4/20 (土) ～5/19 (日)	郷土の哲学者で、茶人でもある久松真一氏を紹介する記念館「久松真一記念館・抱石庵(国登録有形文化財)」の移動展です。氏は、京都帝国大学哲学科在学中師事していた西田幾多郎から『抱石庵』の号を授かり、昭和49年に帰郷後昭和55年に没するまで過ごした自宅を岐阜の「抱石庵」と呼びました。当展では、氏の遺墨、遺愛の茶碗のほか白隠、西田幾多郎の書画、氏と交流があったハイデッカーや湯川秀樹、柳宗悦、イサムノグチらの書簡など60点を通して、「知の巨人」久松真一の世界に迫ります。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「美濃縞展 ―江戸時代に想いを つなぐ 手紡ぎ手織りの縞木綿―」	6/22 (土) ～7/21 (日)	美濃縞は、江戸末期に美濃国で盛んに生産された綿織物です。美濃縞伝承会では美濃縞を復活させようと、現在 31 名の女性たちが当時の手法を追体験する活動をしています。当展では、会員が制作した反物や着物、手で紡ぎ植物で染めた糸、制作工程で使用する道具類など約 90 点を展示します。併せて伝承会活動の一端も紹介し、期間中には糸紡ぎの実演と機織りの実技体験を行います。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「鉄道模型で見る昭和から平成、 そして令和へ」	8/3 (土) ～9/1 (日)	新しく令和時代が始まった今振り返れば、日本の鉄道は大正、昭和、そして平成と移り変わってきましたが、特に昭和時代には、国営の鉄道から民間の JR へ、そして第三セクター、又は廃線へと、鉄道を取り巻く状況が大きく変化しました。当展では、そんな昭和時代から現在までの車両の移り変わりを、展示者所有の車両 (HO ゲージ縮尺 1/80) をもとに多数展示します。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「☆時の輝き☆ からくり・おもしろ古時計展 Part2」	9/14 (土) ～10/20 (日)	下呂市在住の下村洋一さんは、46 年間にわたって掛時計、置時計、懐中時計など約 1,500 点を蒐集しています。マイミュージアムギャラリーでは、平成 25 年に「☆時の輝き☆からくり・おもしろ古時計展」を開催しました。今回は改元を記念して、ユニークな動きをするからくり時計を中心に約 500 点を展示し、時を刻んできた時計を通して時代の移り変わりを紹介します。また、一部展示品については、実際に動かした状態での展示を行います。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「関藩主大嶋雲八と現代甲冑展」	11/2 (土) ～12/22 (日)	関市甲冑同好会は、戦国時代に実際に使用された実践向きの甲冑を、甲冑師の指導を受けてできる限り忠実に再現し製作している団体です。会員の中には、製作した甲冑を身に着け「美濃国関係六隊」として、各地のイベントに参加している人もいます。今回は、会員が製作した甲冑約 25 点を展示し、その製作工程を紹介します。併せて、製作した甲冑の時代に活躍した関の戦国武将大嶋雲八に関連した資料も展示します。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「美濃源氏土岐一族と明智光秀」	1/4 (土) ～3/8 (日)	美濃源氏フォーラムは、美濃源氏土岐一族の歴史検証と、その歴史を活かしたまちづくりを行っている団体です。今回の展示では、これまでの美濃源氏フォーラムの研究・活動の成果を活かし、岐阜県内各地の土岐一族ゆかりの歴史資料や土岐氏ゆかりの社寺、城址、史跡等をパネルで紹介いたします。また、土岐一族とされる明智光秀についても併せて紹介します。

III 平成30年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	平井克昭	【学芸部】		[マイミュージアム係]	
副館長兼総務部長	小野精三	学芸部長	山田昭彦	主査	金子好孝
【総務部】		兼マイミュージアム係長		員	竹中初男
[管理調整係]		[人文係]			益田豊
課長補佐	岡田秀利	課長補佐(考古)	長屋幸二	[教育普及係]	
主	柴田香	主査(歴史)	近藤大典	課長補佐	土田牧也
"	日比野新	"(民俗)	南本有紀	主査	土吉田泰久
主	佐藤宏紀	"(美術工芸)	守屋靖裕	学芸業務専門職	井上好章
"	市村祥紀	[自然係]		"	橋本清菜
雇員	小野真紀	課長補佐(地学)	松本正樹	管理業務専門職	鈴木春美
		"(植物)	可児美紀	"	坪井宏子
		主査(動物)	説田健一	"	長田麻友子
		臨時主事(古生物)	高津翔平	"	加藤章
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ

(3) 異動(平成30年4月1日)

転出者	館長	(中島守)	転入者	館長	平井克昭
(退職者)	学芸部長	高屋嘉文	館長補佐	長屋幸二	
	課長補佐	加藤信男	"	土田牧也	
	"	児山耕生	主査	金子好孝	
	主査	柴田英夫	主任	柴田香紀	
	主事	佐藤里歩	主事	佐藤宏紀	
	学芸業務専門職	(池田詩苑)	"	市村祥紀	
			学芸業務専門職	鈴木春菜	

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
阿部和久	中日新聞岐阜支社長
小川鈺子	岐阜県博物館友の会副会長
加藤千尋	岐阜県PTA連合会母親委員
加藤誉使子	公募委員
桐山圭司	岐阜新聞社取締役編集局長
佐倉一徳	NHK岐阜放送局長
清水優子	中部学院大学・短期大学部付属桐が丘幼稚園長
杉山多美子	岐阜県小中学校長会、山県市立伊自良南小学校長
杉山博文	岐阜女子大学理事長
須山知香	岐阜大学教育学部准教授
◎日比治男	元岐阜県教育長、元岐阜県教育文化財団理事長
古川秀昭	OKBギャラリーおおがき館長 前岐阜県美術館長

◎会長 (平成30年11月15日現在 五十音別・敬称略)
任期は平成30年9月24日から令和2年9月23日

(開催状況)

月日 平成30年11月8日(木)
場所 岐阜県博物館 講堂

○次第

- (1) 岐阜県博物館の現状と実績について
- (2) 議題：博物館機能の全県展開について
- (3) その他(報告事項)：令和元年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・博物館の全県展開事業に関すること
- ・学校(幼稚園・保育園含む)利用の推進に関すること
- ・総合博物館としての在り方と館の特徴に関すること
- ・文化財の伝承や環境保全保護等の指導や情報発信に関すること

3 日誌抄

- | | | | | | |
|------|--|-------|---|-------|--|
| 4. 1 | 人事異動に伴う辞令交付 | | 写真展①(～9/24) | | 道六十九次(前期～11/25・後期12/12～12/27) |
| 7 | MMG展示「現代の刀装職方と金工美濃彫展
～匠の技と雅な刀装具～」(～5/27) | 28 | けんぱく教室「恐竜を描こう」 | 2 | 特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家 一大御乳・池田恒興・輝政の戦い」来場者1万人突破 |
| 11 | 移動展「恐竜の世界～小田隆が描く古生物の姿～」(～6/10) | 29 | ナイトミュージアム① | 3 | 岐阜ふふるさとを学ぶ日(無料開放日)
けんぱくワークショップ
文化の森祭彩り けんぱくワークショップ |
| 14 | やまがたまるごと市 けんぱくワークショップ | 31 | カラフルタウン岐阜「夏休み岐阜県博物館特別ツアー！」 | 4 | 特別展講演会「池田恒興像考 一池田家の始祖認識と画像」 |
| 15 | けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」 | 3. 3 | 教員のための博物館の日① | 10 | マーサ21「マーサワークショップ 化石レプリカづくり」 |
| 21 | モレラ岐阜「GIFU マスターワークショップ 化石レプリカづくり」 | 4 | けんぱく教室「恐竜を造ろう」 | 17 | ぎふサイエンスフェスティバル2018 けんぱくワークショップ |
| 27 | 特別企画展「兼定 刀都・関の名工」(～6/24) | 4 | モレラ岐阜「キッズチャレンジウィーク 火おこし体験」 | 18 | けんぱく教室「木の実を使って季節飾りやアクセサリーをつくろう」 |
| 28 | 学芸講座「若手恐竜研究者、岐阜で恐竜を語る」 | 5 | けんぱく教室「家族で昆虫標本をつくろう」 | 23 | 企画展「化石が語る繁栄と絶滅 ～端浪層群の哺乳類化石～」(～1/27) |
| 28 | フリートーク「恐竜を語ろう～骨と脳と足跡と～」 | 8 | マーゴ「夏休み岐阜県博物館体験ツアー」 | 23 | オータム・ナイトミュージアム |
| 30 | けんぱく教室「こんな恐竜いたらいいな」 | 9 | 教員のための博物館の日② | 24 | けんぱく教室「徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう」 |
| 5. 3 | けんぱく教室「まが玉をつくろう」 | 11 | けんぱく教室「ニワトリの頭骨標本をつくろう」 | 25 | 博物館・図書館連携企画展講演会「歌川国芳『木曾街道六十九次』を読み解く」 |
| 4 | けんぱく教室「笛をつくって遊ぼう」 | 12 | ナイトミュージアム②※悪天候のため中止 | 12. 1 | けんぱく教室「瑞浪市化石博物館見学及び化石採集」 |
| 5 | けんぱく教室 子どもの日特別企画「水晶ジオード割り」 | 15 | 小屋名精進寺「チンチカカ」の日限定小屋名地区住民限定無料入館日 | 2 | seki いきいきフェスタ けんぱくワークショップ |
| 11 | 入館者300万人突破 | 19 | 特別展講演会「標本って何する仕事? 一動物標本の文化史」 | 8 | カラフルタウン岐阜「カラフルタウンワークショップ 化石レプリカづくり」 |
| 19 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ | 26 | 熱中症歴史倶楽部プレゼンツ「僕らはあの頃の未来に生きている」 | 8 | MMG展「ようこそ「新生代」の化石の世界へ」(～1/27) |
| 20 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ | 9. 8 | カラフルタウン岐阜「カラフルタウンワークショップ 化石レプリカづくり」 | 9 | マーサ21「まーさキッズスマイル × 岐阜県博物館 博物館体験学習」 |
| 26 | ギャラリートーク「兼定を装った拵」 | 9 | 学芸講座「再び『葉草のふるさと 伊吹』の世界へ」 | 16 | 学芸講座 特別企画「絶滅哺乳類ヒラマキウマ～1,800万年前の姿に迫る～」 |
| 6. 2 | 特別展講演会「和泉守兼定と土方歳三」 | 14 | 特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家 一大御乳・池田恒興・輝政の戦い」(～11/11) | 23 | クリスマス・ナイトミュージアム |
| 3 | ギャラリートーク「黒田長政所持の刀剣について 兼定を中心に」※中止 | 15 | マーゴ「マーゴワークショップ 化石レプリカづくり」 | 25 | 年末すす払いメインホールの恐竜全身骨格 |
| 6 | 特別企画展「兼定 刀都・関の名工」来場者1万人突破 | 17 | モレラ岐阜「モレラワークショップ 化石取り出し体験」 | 1. 6 | 博物館友の会企画「七草がゆを食べよう」 |
| 9 | 体験講座「帯刀体験 本物の刀を腰に指してみよう」※中止 | 24 | モレラ岐阜「モレラワークショップ 化石取り出し体験」 | 6 | けんぱく教室「ちよっと昔の正月遊びを体験しよう」 |
| 9 | 学芸講座 特別企画「美濃の刀工について」 | 30 | 学芸講座「池田家三代 一戦国に舞った揚羽蝶」※台風接近のため中止 | 12 | 博物館・図書館連携企画展「芝居大国! 岐阜」(～3/10) |
| 9 | 明治150年ミニ展「明治に発想! 天然記念物の祖 三好 学」・「岐阜県誕生 一流流の国ぎふの源流を訪ねて」(～7/16) | 30 | 山県市ふるさと栗まつり2018 けんぱくワークショップ※台風接近のため中止 | 13 | 学芸講座「海のない岐阜県にクジラやエゾイガイがいた時代 ～1,800万年前の様子を語る～」 |
| 9 | MMG展示「明治150年・福澤桃生誕150年記念」
「論吉から桃介へ～日本近代化の軌跡～」(～7/16) | 10. 6 | 三重県総合博物館交流企画「お伊勢参りの今昔～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる～」 | 19 | ハートフルフェスタ2018 けんぱくワークショップ |
| 10 | ギャラリートーク「兼定後代の名工、会津十一代兼定の作風について」 | 6 | MMG展示「ギネス認定きものコレクション～岐阜ゆかりのきものたち～」(～11/25) | 20 | けんぱく教室「貝化石発掘体験」 |
| 23 | 学芸講座 特別企画「海洋科学から見た南海トラフ」 | 7 | モレラ岐阜「モレラワークショップ 化石レプリカづくり」 | 2. 2 | ワークショップ「歌舞伎の魅力を知ろう」 |
| 30 | カラフルタウン岐阜「カラフルタウンワークショップ 化石レプリカづくり」 | 8 | 特別展講演会「関ヶ原合戦図屏風の魅力」 | 2 | 河川環境楽園 化石取り出し体験 |
| 7. 6 | 特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」(～9/2) | 10 | 岐阜県博物館・岐阜大学連携企画移動展「天然記念物の祖 三好 学」(～11/12) | 3 | 博物館・図書館連携企画展講演会「美濃飛騨の地芝居案内」 |
| 7 | 明治150年・福澤桃生誕150年記念シンポジウム「受け継がれしもの～論吉から桃介へ、そして現代へ～」※悪天候により中止 | 13 | けんぱく教室「学芸員と見学する小里城の山城遺構」 | 16 | MMG展示「井戸家のお雛様 ～圧巻! 古今東西雛揃え!～」(～3/24) |
| 15 | けんぱく教室「水晶ジオード割り体験 ～クリスタルのひみつを探ろう～」 | 13 | 講演会「ギネス認定! 魅力にはまり、始めたきものコレクション」 | 16 | マーゴ「マーゴワークショップ 化石レプリカづくり」 |
| 21 | モレラ岐阜「GIFU マスターワークショップ 化石レプリカづくり」 | 14 | マーゴ「マーゴワークショップ 化石取り出し体験」 | 23 | 学芸講座「獅子芝居のすすめ」 |
| 22 | 特別展講演会「標本バカの世界 ～無目的、無制限、無計画な標本収集への招待～」 | 14 | ミニ講演会「鳥取池田家の歴史と文化遺産」 | 24 | 天皇陛下御在位三十年記念に伴う無料公開 |
| 24 | 博物館実習(～7/28) | 20 | オータムフェスティバル けんぱくワークショップ | 24 | ぎふ清流文化プラザワークショップギャザリング |
| 28 | MMG展示「夢虫! 熱虫! 懐かしの漫画・アニメコレクション ～過去から未来への贈り物～」(～9/24) | 21 | オータムフェスティバル けんぱくワークショップ | 24 | 藍見地域ふれあいセンター 火おこし体験 |
| 28 | 2018年度岐阜・リトアニア交流事業関連展示「杉原千蔵と命のヒザ シベリアを越えて 一寿福滋 | 27 | けんぱく教室「百年公園で秋を見つけよう」 | 3. 16 | 学芸講座「入門 岐阜県の古代史 ～美濃・飛騨の人名～」 |
| | | 11. 2 | 博物館・図書館連携企画展「歌川国芳 木曾街 | | |

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を平成30年度の運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の教育普及事業として33回の催し物、学芸員による13回の出前授業や20回の講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別企画展「兼定 刀都・関の名工」を行い、全国各地から多くの方々に来館いただいた。

(1) 展示活動

特別企画展、特別展など、下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、平成30年度の連携企画展、平成31年度特別展に関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査（モニタリング1000）、県内植物分布調査、平成31年度植物分野展示に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、当館収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施した。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」を本年度も8月に2日間開催した。わくわく体験は原則毎月第2、第4日曜日と定期的な開催とし「組ひもストラップづくり」などの新メニューも追加した。小・中学生の夏休みの自由研究の相談について積極的に広報し、専門の学芸員による解説・指導を行った。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。「秋みつけ」などの学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、98名が登録し、活動内容にあわせて11の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
移動展 【会場：飛騨高山まちの博物館】 「恐竜の世界 ～小田隆が描く古生物の姿～」	4/11（水） ～6/10（日）	図鑑などでおなじみの恐竜をはじめとする様々な古生物の生き生きとした様子を描く復元画は、化石の研究から得られた情報をもとに科学的に制作されている。当展では、日本を代表する恐竜復元画家小田隆氏による復元画作品を展示するとともに、画家が科学的に作品を仕上げていく過程について紹介した。	40,467
特別企画展 「兼定 刀都・関の名工」	4/27（金） ～6/24（日）	中世に遡る刃物産地として知られる関の刀鍛冶の中でも屈指の名工とされる和泉守兼定を取り上げた。戦国争乱の終結後、関鍛冶が優れた作刀技術で全国に活動の場を広げるなか、兼定は関での活動が16世紀半ばまで確認されており、その後同銘工が会津藩（福島県）に移って明治まで11代が継承した。当展では、歴史をにぎわせたときどきの勇者名士に愛蔵され、日本史上に彩りを添えたこれら兼定銘の刀剣等を多数展示した。	19,010
特別展 「理科室からふるさとの自然を見つめて ～知れば知るほど面白い標本の世界～」	7/6（金） ～9/2（日）	戦前の学校の理科室には、トキやライチョウをはじめ、オーストラリアにしかいないカモノハシなどの珍しい標本がたくさんあり、児童生徒は郷土だけでなくグローバルな自然のあらましを学ぶことができた。当展では、大学や高等学校が所蔵していた戦前の標本をはじめ、生物の分布や分類など調査研究の証拠として博物館が所蔵する標本を多数展示し、生物標本の面白さに触れ、岐阜の多様な自然のすばらしさを紹介した。	8,924
特別展 「信長・秀吉・家康と美濃池田家 —大御乳・池田恒興・輝政の戦い—」	9/14（金） ～11/11（日）	岐阜の地は、信長、秀吉、家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。約10年にわたり岐阜に本拠地をおいた信長、美濃を基盤に台頭の糸口をつかんだ秀吉、そして関ヶ原で政権の帰趨を決した家康とそれぞれの「天下人」にとって画期となる場所だった。当展では、美濃に関わりの深い大名池田氏（大御乳・恒興・輝政）を中心に各地に所在する文化財から、織豊・徳川政権の形成にこの地が果たした役割を紹介した。	12,655
企画展 「化石が語る繁栄と絶滅 ～瑞浪層群の哺乳類化石～」	11/23（金・祝） ～1/27（日）	岐阜県には、5億年以上前の古生代の岩石類、地層群から現在まさに作られている新生代の地層群や岩石類が広がっており、なかでも岐阜県の瑞浪・可児・岩村盆地には、新生代の前期～中期中新統（約2,000万年～1,500万年前）の陸・海成の地層である瑞浪層群が広く分布している。当展では、岐阜県の哺乳類化石をテーマに、瑞浪市化石博物館の所蔵標本約50点を含めこれらの貴重な資料群を一堂に紹介した。	5,413

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
岐阜・リトアニア交流事業関連展示 【会場：岐阜県図書館】 「杉原千畝と命のビザ シベリアを越えてー寿福滋写真展ー」	7/28 (土) ～9/24(月・祝)	ナチス・ドイツから迫害されていたユダヤ人にビザ(通過査証)を発給し、約 6,000 人の避難民を救ったといわれる杉原千畝(1900～1986)の行為に感銘を受けた写真家の寿福滋(じゅふくしげる)氏(1953-)は、「命のビザ」を得た避難民の旅路をたどる撮影をライフワークとしてきた。当展では、寿福氏の作品群とエッセイを通じて、避難民の足跡を追う中で出会った人々や風景から杉原千畝が残したものを振り返った。	7,882
博物館・図書館連携企画展 【会場：岐阜県図書館】 「歌川国芳 木曾街道六十九次」	前期 11/2 (金)～ 11/25 (日) 後期 12/12 (水)～ 12/27 (木)	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳(1798～1861)が描いた「木曾街道六十九次」は、全 72 枚の物語絵の揃物だが、この「木曾街道六十九次」を全点揃いで所蔵している団体・個人は非常に少なく、岐阜県博物館が誇るコレクションの一つとなっている。当展では、全 72 枚を前期・後期に分けて展示し、「木曾街道六十九次」を読み解きながら、江戸時代の人々の娯楽を紹介した。	2,695
博物館・図書館連携企画展 【会場：岐阜県図書館】 「芝居大国！岐阜」	1/12 (土) ～3/10 (日)	岐阜県は全国有数の地芝居(地域民による歌舞伎・人形浄瑠璃)伝承地として知られている。近年は中断していた上演の復興や、岐阜市での定期公演化、外国人向けのツアープログラム開発など積極的に活用が図られている。当展では歌舞伎や浄瑠璃(娘義太夫・人形浄瑠璃)などの芸能資料を展示して、当県の豊かな地芝居文化を紹介した。	3,391
明治 150 年ミニ展 「岐阜県誕生 ー清流の国ぎふの源流を訪ねてー」 「明治に発想！ 天然記念物の祖 三好 学」	6/9 (土)～ 7/16 (月・祝)	約 1,300 年前に誕生した飛騨・美濃両国は、明治維新を経る中で現在の岐阜県へと大きく変貌を遂げた。当展では、当館が所蔵する資料に加え、県内各地に伝わる貴重な資料を展示し、「飛騨・美濃の誕生」から「岐阜県誕生」に至るまでの歴史を紐解いた。また岐阜県と清流とのかかわりについて関心を深めていただく機会となるよう、「清流」に焦点をあて、古代から近代までの秘せられた治水工事の歴史も紹介した。※三好学展については、下欄の展覧会と同内容。	9,581
連携企画移動展 【会場：岐阜大学図書館】 「明治に発想！ 天然記念物の祖 三好 学」	10/10 (水) ～11/12 (月)	岐阜が誇る偉人三好学は、天然記念物のシステムを明治に発想し、中心となって作った人物である。彼は幼少期を岩村で過ごし、わずか 17 歳で土岐小学校長となったのち東京帝国大(現：東大)に進学して植物学を究め、ドイツ留学を経て名誉教授となり、教科書「普通植物生態学」をはじめ、桜に関する研究報告など多くの名著を残した。当展では、天然記念物の祖といわれる三好学の功績を紹介した。	16,393
マイミュージアムギャラリー	(P22 参照)	「現代の刀装職方と金工美濃彫展」をはじめ、6 回の展示を実施した。	—

特別企画展 「兼定 刀都・関の名工」

1 開催期間

平成30年4月27日(金)～6月24日(日)(51日間)

2 主催、後援、監修・協力

主催：岐阜県博物館

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会、
関市、関市教育委員会

監修・協力：

公益財団法人日本美術刀剣保存協会、
日本美術刀剣保存協会岐阜県支部、
関伝日本刀鍛錬技術保存会

3 趣旨

関鍛冶の中でも「関の孫六 三本杉」の兼元と並び称される名工・和泉守兼定(之定・ノサダ)を取り上げ、室町時代から明治まで、兼定銘の作刀を一堂に集めて展示した。之定以外では、幕末・明治の会津十一代兼定の出品が多く、後者については、土方歳三愛刀を筆頭に県内初の大規模公開となった。ほかに兼定刊の経典版本、森長可所持十文字槍「人間無骨」写し等を参考出品とした。

4 展示構成

(1) 関住兼定

兼定銘の刀工は、関で室町時代初期～戦国時代に数世代・複数人が活動しており、中でも名工とされる之定と、それ以外の兼定(疋定)作刀について、之定の前世代から後世代までを年代順に展示した。

<展示資料>

刀 銘 濃州関住兼定/永正七年二月日(個人蔵)

短刀銘 和泉守藤原兼定作(個人蔵)

刀 銘 和泉守兼定作

(個人蔵・京都国立博物館寄託)



展示室のようす(行列のため結界を設置)

(2) 会津兼定(古川兼定)

「五鍛冶六家」(古川兼定・下坂為康・三善長道・中条道辰・鈴木兼友、下坂別家・角・皆川・村田・若林・

長尾)に分類される会津刀工のうち、葦名盛氏が招聘した関鍛冶登祥といわれている会津兼定歴代中、二代・四代・十一代の作刀を紹介した。

<展示資料>

刀 銘 近江大掾藤原兼定(個人蔵)

刀 銘 和泉守藤原朝臣兼定

／慶応元巳年八月日(個人蔵)

刀 銘 和泉守兼定

／慶応三年二月日(土方歳三資料館蔵)

(3) 参考出品

之定作・森長可所持という十文字槍「人間無骨」について、江戸時代後期の写しと関連刀剣書、絵図を展示した。また、之定刊行とされる観音経についてマイクロフィルムと複製を紹介した。

<展示資料>

槍 銘 赤穂住則之五拾一歳鍛焉

／天保四巳二月吉日(赤穂大石神社蔵)

森家累代神鎗 銘人間無骨(赤穂市教育委員会蔵)

法華経第二十五普門品(観音経)(個人蔵)



関市コーナー(ロビー)

5 関連事業

5月26日(土) ギャラリートーク

「兼定を装った拵」

坂入眞之(柄巻師)

6月2日(土) 講演会「和泉守兼定と土方歳三」

土方愛(土方歳三資料館館長)

6月9日(土) 学芸講座「美濃の刀工について」

堀江登志実

(岡崎市美術博物館学芸員)

6月10日(日) ギャラリートーク

「兼定後代の名工、
会津十一代兼定の作風について」
外山登

(日本美術刀剣保存協会長岡支部)

なお、6月2日の講演会では受付開始日に即日満員となってしまったため、本会場(けんぱくホール)のほかに別会場(講堂)実況中継を実施した。

特別展 理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～

1 開催期間

平成30年7月6日(金)～平成30年9月2日(日)

2 主催、後援

主催：岐阜県博物館、岐阜新聞・ぎふチャン

後援：NHK岐阜放送局 岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県は、日本のほぼ中央に位置し、標高差も大きいことから、多様な自然環境が見られ、多くの生物で満ち溢れている。その一方で、身近な里山の動物が減少し、外来生物の侵入や大型哺乳類の分布拡大によって、ふるさとの自然環境が損なわれている。

戦前の学校の理科室には、ライチョウやカモノハシなどの珍しい標本があり、児童生徒は、ふるさとだけでなくグローバルな自然のあらましを学ぶことができた。現在、学校教育の中で、標本を使って自然を学ぶ機会は減ったが、私たちは博物館に蓄積された標本を観察することで、ふるさとの自然の変化を知り、同時に自然の造形の驚異に触れることができる。

今回の特別展では、自然史研究の証拠資料として博物館に保管されている標本をはじめ、戦前の学校教育で使用された資料を展示することで、標本の価値や歴史を学び、岐阜の多様な自然のすばらしさを知る機会とした。



展示室入口の様子

4 展示構成

(1) 標本とは何か

自然史研究の基礎資料となる標本の価値を紹介した。

【主な展示資料】

タイプ標本（飛騨山脈のハネカクシ類、岐阜県関市のウシモツゴなど）、カワウソ（静岡県森林センター・京都大学）、オオカミ（和歌山大学）、トキ（奈良女子大学）、ニホンアシカ（奈良女子大学）、風間鳥類コレクション、大垣内宏貝類コレクション、柳原要二鳥類コレクション

(2) 標本の種類とかたち

対象とする自然物によって異なる標本の作製方法を紹介した。

【主な展示資料】

液浸標本、乾燥標本など

(3) 理科室の標本

明治以降の学校教育と博物標本業の発展との関連を紹介し、わが国における標本製作の歴史を概観した。

【主な展示資料】

人魚の剥製、京都大学所蔵標本（坂本福治製作標本、東京教育博物館、教育品製造合資会社及び動物標本社製品など）、岐阜大学及び県内高等学校旧蔵標本

(4) 博物館の標本を使う

博物館の標本の利用方法を紹介した。

【主な展示資料】

貸出資料（哺乳類頭骨標本、脊椎動物骨格標本）、ボランティア：サポーターグループの活動で得られた標本、触察標本

5 関連事業

(1) 講演会「標本バカの世界～無目的、無制限、無計画な標本収集への招待～」

講師：川田 伸一郎氏（国立科学博物館）

日時 7月22日（13：30～15：00）

会場 けんぱくホール

(2) 講演会「標本土って何する仕事？—動物標本の文化史—」

講師：相川 稔氏（筑摩標本室・標本土）

日時 8月19日（13：30～15：00）

会場 けんぱくホール

(3) けんぱく教室「家族で昆虫標本をつくろう」

講師：当館学芸員

日時 8月5日（10：00～15：00）

会場 講堂

(4) けんぱく教室「ニワトリの頭骨標本をつくろう」

講師：当館学芸員

日時 8月11日（10：00～15：00）

会場 講堂



展示室の様子

特別展 信長・秀吉・家康と美濃池田家—大御乳・池田恒興・輝政の戦い—

1 開催期間

平成30年9月14日(金)～平成30年11月11日(日)

2 主催、共催

主催：岐阜県博物館 中日新聞

共催：NHK岐阜放送局 岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜の地は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。その美濃を舞台に戦国、安土・桃山時代を対象とした展覧会第3弾として、今回は美濃に関わりの深い戦国大名池田家（大御乳養徳院・恒興・輝政）を軸に、併せて三人の天下人に関わる文書や絵画、武具などの文化財を紹介し、織豊政権・徳川政権の形成にこの地が果たした役割を探った。

同時開催として、鳥取県から史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が同家墓所写真コンクール入賞作品展示を、また瑞浪市教育委員会とはけんぱく・瑞浪市連携企画展示として、恒興が一時在城した岐阜県史跡・小里城跡の紹介も行った。

4 展示構成

(1) 美濃池田家とは

池田家には美濃国池田郡出身という説がある。ここでは池田家のルーツやその成立と発展に関わる資料を展示した。

【主な展示資料】国重文・信長記、池田家履歴略記（岡山大学）池田恒興像（鳥取県立博物館・太陽コレクション）国重文・関ヶ原合戦図（大阪歴史博物館）など

(2) 織田信長と美濃 ～養徳院・池田恒興の登場～

養徳院は信長の乳母として、恒興は信長の乳兄弟として織田家中で重きをなし池田家発展の基礎をつくった。ここでは信長・恒興と美濃に関わる資料を展示した。

【主な展示資料】言継卿記（東京大学史料編纂所）県重文・銅製鰐口（郡上市大師講）池田恒利像（鳥取県立博物館）池田恒興像（誓願寺・龍徳寺）織田信長発給文書（岡山大学・美濃加茂市民ミュージアム）長篠合戦図屏風（豊田市郷土資料館）銀箔押大釘頭立付鉄錆地頭形兜（赤穂大石神社）など

(3) 豊臣秀吉と美濃 ～池田恒興・輝政の勢力拡大～

小牧長久手の戦いは恒興が討死するなど池田家最大の危機となった。その後急遽家を継いだ輝政を支えたのは祖母大御乳と豊臣秀吉である。ここでは小牧長久手の戦いをめぐって池田家と秀吉の関係を示す資料を中心に、三人の天下人から大御乳宛に出された文書など池田家の女性にも注目した資料を展示した。

【主な展示資料】豊臣秀吉画像（太陽コレクション）国重文・楽市楽座制札（池田元助・池田輝政）（円徳寺）池田元助判物（法華寺）良正院画像（真教寺）小牧長久手合戦図屏風（太陽コレクション）

豊田市郷土資料館）豊臣秀吉書状（林原美術館・岡山大学）池田輝政像（鳥取県立博物館・林原美術館）池田恒興槍・鞍・鎧（龍福寺）黒糸素懸威伊予札丸胴（赤穂大石神社）など

(4) 徳川家康と美濃 ～濃州関ヶ原合戦と輝政ら諸将～

関ヶ原合戦は天下の帰趨を決めただけでなく、池田家にとっても生き残りをかけた重要な戦いであった。ここでは関ヶ原合戦をめぐる輝政と家康、福島正則に関する資料を展示した。

【主な展示資料】徳川家康書状（林原美術館・岡山大学）国宝・島津家文書、福島正則像（東大史料編纂所）黒塗黒糸威頭形兜（林原美術館）関ヶ原合戦絵巻（館蔵）

(5) 近世大名池田家の広がり

関ヶ原合戦後、輝政は播磨に転封となり、ここに後に岡山・鳥取藩主として明治維新を迎えた近世大名池田家が誕生する。ここでは江戸時代の池田家の様子や美濃との関わりを示す資料を展示した。

【主な展示資料】縄武像（林原美術館）岡山藩家中諸士家譜五音寄（岡山大学）烈忠霊同聚（龍徳寺）など



展示風景

5 関連事業

講演会1 10月8日(月・祝)

「関ヶ原合戦図屏風の魅力」

講師：高橋 修 氏（茨城大学）

講演会2 11月4日(日)

「池田恒興像考—池田家の始祖認識と画像—」

講師：斎藤夏来 氏（名古屋大学）

博物館講座1 9月30日(日)

「池田家三代—戦国に舞った揚羽蝶—」

講師：伊藤康晴 氏（鳥取市教育委員会）

内池秀樹（岡山県教育庁）

山田昭彦（当館）

※ただし、台風接近のため中止。

博物館講座2 10月21日(日)

「池田輝政と美濃・三河」

講師：谷口 央（首都大学東京）

けんぱく教室 10月13日(土)

「学芸員と見学する小里城の山城遺構」

講師：砂田普司（瑞浪市教育委員会）

関連事業のない日曜日

学芸員によるギャラリートーク

企画展 化石が語る繁栄と絶滅 ～瑞浪層群の哺乳類化石～

1 開催期間

平成30年11月23日（金・祝）～
平成31年1月27日（日）

2 主催、協力、後援

主催：岐阜県博物館
協力：瑞浪市化石博物館
後援：岐阜県教育委員会・瑞浪市教育委員会

3 趣旨

岐阜県の瑞浪・可児・岩村盆地には、新生代の前期～中期中新世（約2000万年～1500万年前）の陸・海成の地層である瑞浪層群が広く分布している。瑞浪層群から見つかった化石標本として、岐阜県博物館では平成28年度に日本初発見となったウマやバクの仲間である絶滅哺乳類「カリコテリウム類」に関する学術誌への発表があった。また、世界的にも貴重な標本であり、基盤的なウマの仲間にあたるアンキテリウム類（ヒラマキウマ）の下顎骨の寄贈をはじめ、岐阜県産の新生代哺乳類化石の新知見が多く得られた。今日では内陸に位置する岐阜も約2,000万年前には海に面し、陸棲の哺乳類と海成の哺乳類が繁栄した「大哺乳類時代」にあった。

本企画展では、世界的にも貴重な絶滅哺乳類であるカリコテリウムやヒラマキウマ、瑞浪産のクジラ類化石をはじめ、岐阜県から産する新生代の哺乳類化石をテーマに、瑞浪市化石博物館の所蔵標本約50点を含めこれらの貴重な資料群を一堂に集め、展示紹介した。またこれらの化石を通して、2000万年に亘る「岐阜の成り立ち」に古生物学的・地質学的観点から迫った。

4 展示構成

(1) 瑞浪層群とは～2000万年前の瑞浪の姿～

岐阜県に分布する瑞浪層群について、その年代や成り立ち、環境の移り変わりを示し、産出する無脊椎・脊椎動物化石をもとに地質学的・古生物学的・古地理学的観点から展示・解説を行った。

【主な展示物】

- ・瑞浪層群の層序区分図や古環境のパネル展示
- ・瑞浪産軟体動物化石および岩石標本
- ・触れる化石（貝類密集岩塊、植物化石岩塊）

(2) 瑞浪層群の動物化石～瑞浪の多様な哺乳類たち～

瑞浪層群から産する脊椎動物化石（ゴンフォテリウム、カリコテリウム類、ヒラマキウマなどの陸生哺乳類、イルカやクジラなどの海生哺乳類）の実物を中心に展示し、岐阜が「日本屈指の哺乳類化石産出地」であることを展示・解説した。

【主な展示物】

- ・ゴンフォテリウムやカリコテリウム等の陸生

哺乳類化石

- ・ミノイルカやハクジラ等の海生哺乳類化石

(3) 瑞浪の新たなクジラ化石～知られざるその復元像～

2016年～2017年にかけて瑞浪市から新たに発見・発掘された全長5～6m程のクジラ化石（イサナセタスの近似種）の全身骨格を借用・展示した。実物化石と合わせて、復元骨格図（画：府高 航平）もあわせて展示した。

【主な展示物】

- ・クジラ化石（イサナセタスの近似種）の全身骨格
- ・イサナセタスの骨格復元図
- ・イサナセタスの模式標本の複製（三重県産）

(4) 映像資料（展示室中央）

瑞浪産クジラ化石（イサナセタスの近似種）の発掘風景や本標本をもとにした1800万年前の瑞浪帆復元面制作風景動画を上映した（瑞浪市化石博物館制作）。

5 関連事業

(1) 学芸講座「絶滅哺乳類ヒラマキウマ～1,800万年前の姿に迫る～」

日時：平成30年12月16日（日）13:30～15:00

場所：けんぱくホール

講師：宮田 和周 研究員

（福井県立大学 恐竜学研究所 准教授）

(2) 学芸講座「海のない岐阜県にクジラやエゾイガイがいた時代～1,800万年前の様子を語る～」

日時：平成31年1月13日（日）13:30～15:00

場所：けんぱくホール

講師：安藤 佑介 博士

（瑞浪市化石博物館 学芸員）

(3) けんぱく教室「瑞浪市化石博物館見学及び化石採集」

日時：平成30年12月1日（土）10:00～14:00

場所：瑞浪市化石博物館および野外学習地

講師：当館学芸員

(4) けんぱく教室「貝化石発掘体験」

日時：平成31年1月20日（日）13:30～15:30

場所：岐阜県博物館3階 ピロティ

講師：当館学芸員



展示風景写真

移動展 恐竜の世界～小田隆が描く古生物の世界～

1 開催期間

平成30年4月11日(水)～平成30年6月10日(日)

2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館、共催 高山市教育委員会

後援：岐阜県教育委員会

協力：小田 隆 三重県総合博物館 MieMu
荘川化石調査研究推進委員会

3 会場

飛騨高山まちの博物館2階 特別展示室

4 趣旨

高山市や白川村などの飛騨北部地域は、学術的に大変貴重な中生代の恐竜化石や植物の化石が産出し、全国的に古生物(恐竜)学の重要な地域となっている。

今回の移動展は、岐阜県博物館が行う博物館機能全県域展開の一環として行う展示として、飛騨北部地域の古生物に焦点を当て、日本を代表する古生物復元画家の小田隆氏の復元画をもとに、岐阜県で発見された恐竜の世界を紹介した。このことにより、岐阜県の豊かな自然をより広く県民に知る機会の一つとして、ふるさと岐阜の魅力である大自然の素晴らしさや楽しさを認識するきっかけとした。

5 展示構成

(1) 恐竜はどのようにして描かれるのか？

恐竜を描くために、画家と研究者がどのようなやり取りをし、どのように絵が変化していくのか、制作過程を追いながら紹介

<主な展示物>

- ・大白川地域の足跡化石をモチーフとした復元画の制作過程の写真、動画、ラフ、完成品大判プリント
- ・小田隆氏のアトリエ



復元画の制作過程

(2) 岐阜県の恐竜復元画

岐阜県で発見された恐竜の復元画の原画、岐阜県博物館所蔵の恐竜資料の制作するにあたり参考にした恐竜骨格標本を展示

<主な展示物>

- ・水面を渉るイグアノドン類(タペストリー)
- ・高山市荘川町で発見された恐竜化石とその復元画 など



高山市荘川町で発見された恐竜化石と復元画

(3) 復元画で見る恐竜の世界

図鑑や博物館展示など、様々なメディアで使用された恐竜の復元画(原画)を展示

<主な展示物>

- ・恐竜の復元画(原画)

(4) 小田隆作品グッズ

小田隆氏の復元画を使用したカバンやポスターなどのグッズを紹介



小田隆作品のグッズ

2018 年度岐阜・リトアニア交流事業関連展示

「杉原千畝と命のビザ シベリアを越えてー寿福滋写真展ー」

1 開催期間

平成30年7月28日(土)～9月24日(月・祝)(50日間)

2 主催

岐阜県博物館

3 会場

岐阜県図書館2階 企画展示室Ⅱ

4 趣旨

杉原千畝(1900～1986)は、第二次世界大戦中、日本領事館領事代理として赴任していたリトアニアのカウナスで、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人たちにビザ(通過査証)を発給し、約6,000人の避難民を救ったといわれる。

そうした杉原千畝の行為に感銘を受けた写真家の寿福滋(1953-)氏は、「命のビザ」を得た避難民の旅路をたどる撮影をライフワークとしてきた。本展では、寿福氏の作品群とエッセイを通じて、避難民の足跡を追う中で出会った人々や風景から杉原千畝が残したものを振り返る。

5 展示構成

(1) ナチス・ドイツによるユダヤ人の迫害(アウシュビッツ・ワルシャワ)

【展示資料】アウシュビッツのゲート、高压電線などの造作物、写真パネル ほか

(2) 杉原千畝が赴任した領事館(リトアニアのカウナス)

【展示資料】領事館の柵や門などの造作物、写真パネル ほか

(3) ビザを得た避難民の旅路(モスクワ・シベリア鉄道・ウラジボストークから敦賀・神戸から上海)

【展示資料】写真パネル ほか

(4) 杉原千畝が残したもの(エルサレム・ニューヨーク・八百津町)

【展示資料】高校生対象のエッセイコンテストポスター(SUGIHARA DO THE RIGHT THING)、写真パネルほか

(5) ビザを得た家族のその後(ハフトカー家)

【展示資料】杉原千畝発行ビザが押されたハフトカー家のパスポート(レプリカ)、パスポート解説ボード、写真パネル ほか

(6) 杉原千畝の生涯

【展示資料】杉原千畝記念館作成DVDの上映

6 関連事業

(1) ギャラリートーク

7月29日(日) 午前11時～ 午後2時～

講師 寿福 滋 氏



会場の様子

1 開催期間

前期 平成 30 年 11 月 2 日 (金)
 ～平成 30 年 11 月 25 日 (日) (21 日間)
 後期 平成 30 年 12 月 12 日 (水)
 ～平成 30 年 12 月 27 日 (木) (14 日間)
 計 35 日間

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
 共催：岐阜県図書館
 後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

江戸時代の浮世絵師、歌川国芳 (1798 ～ 1861) が描いた「木曾街道六十九次」は、全 72 枚の物語絵の揃物 (シリーズ物) である。この「木曾街道六十九次」を全点揃いで所蔵している団体・個人は非常に少なく、岐阜県博物館が誇るコレクションの一つとなっている。

本展では、岐阜県図書館を会場にして全 72 枚を 2 期に分けて展示し、「木曾街道六十九次」を読み解きながら、江戸時代の人々の娯楽を紹介した。



木曾街道六十九次之内 御嶽 悪七兵衛景清

4 展示構成

冒頭において総合解説のコーナーを設け、「木曾街道六十九次」や錦絵、浮世絵、歌川国芳について解説した。

そして、前期は「木曾街道六十九次之内 日本橋 足利頼兼 鳴神勝之助 浮世渡平」から「木曾街道六十九次之内 藪原陶春賢」までを、後期は「木曾街道六十九次之内 宮の越大塔宮」から「木曾街道六十九次之内 京都 鶴 大尾」までと「目録」を順に展示した。

末尾には江戸時代の街道の地図と中山道の宿場一覧を掲示した。

今回の展示では「ごあいさつ」「総合解説」「作品解説」の各和文パネルに対応する英文パネルも並置した。また、個々の作品解説パネルに補助解説 (和文) パネルを添えた。この補助解説には岐阜県のマスコットキャラクター「ミナモ」を使い、子どもの目線に近づけた文章にした。



展示会場の様子

5 関連事業

(1) 博物館・図書館連携企画展講演会

「歌川国芳「木曾街道六十九次」を読み解く」

講師：岩切 友里子 (浮世絵研究家)
 日時：11 月 25 日 (日) 13:30 ～ 15:00
 会場：岐阜県図書館 2 階 多目的小ホール



講演会の様子

(2) 多版多色版画 ワークショップ

講師：後藤弘行 (岐阜県美術館教育普及係)
 日時：11 月 17 日 (土) 13:00 ～ 16:00
 場所：岐阜県図書館 1 階 ロビー

(3) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：11 月 11 日 (日)、12 月 16 日 (日)
 各日 13:30 ～ 14:00

1 開催期間

平成31年1月12日(土)～3月10日(日)(48日間)

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
共催：岐阜県図書館
後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県は、地芝居（歌舞伎・人形浄瑠璃）が農山村の娯楽として盛んに行われてきた全国有数の芝居伝承地である。全国では古くからの継承が廃絶してしまった事例が多い中、岐阜県では今も昔ながらの地元での公演のみならず、中断からの復活公演や出張公演、観光客向けツアープログラム公演など、地域の文化観光資源として積極的に活用が図られている。

本展では、歌舞伎資料を中心に、歌舞伎同様に農山村で愛好された浄瑠璃（娘義太夫、人形浄瑠璃）なども取り上げ、郷土の育んだ豊かな芝居文化を振り返る内容とした。

4 展示構成

(1) 歌舞伎

歌舞伎衣裳・カツラ・小道具を紹介。展覧会開場直前に指定された「美濃の地歌舞伎衣裳」(美濃歌舞伎保存会所蔵)についても紹介した。



(2) 子ども歌舞伎

曳山祭礼のうち子ども歌舞伎を伴う3例（揖斐祭り、垂井曳軸祭り、古川祭り）を取り上げ、そのうち揖斐川町と垂井町の事例については看板・台本・配布物等を展示した。

(3) 振付師など

岐阜県の素人歌舞伎を特徴づける振付師を取り上げたほか、三味線方・太夫を紹介した。

(4) 人形浄瑠璃

真桑文楽の三味線方旧蔵の三味線・浄瑠璃本、阿波の人形師による人形等を展示。

(5) 娘義太夫

近代、元祖アイドル的人気を誇った娘義太夫を

取り上げ、名古屋を拠点に戦時中中津川市付知等で活動した芸人を紹介した。



(6) 県施策の紹介（ヨーロッパ公演など）

2018年度の「地歌舞伎」にかかわる県の支援事業を紹介した。2018年10月のヨーロッパ公演については、現地で使用された会場ディスプレイを展示室内外に掲示した。



県図書館吹き抜けのようす

5 関連事業

(1) ワークショップ「歌舞伎の魅力を知ろう」

講師 小栗幸江
(美濃歌舞伎博物館 相生座 館長・学芸員)
日時 平成31年2月2日(土) 13:00～15:30
場所 岐阜県図書館・研修室(定員60人)

(2) 講演会「美濃飛騨の地芝居案内」

講師 蒲池卓巳(地芝居ポータルサイト 代表)
日時 平成31年2月3日(日) 13:30～15:00
場所 岐阜県図書館・多目的小ホール(定員90人)

(3) 博物館学芸講座「獅子芝居のすすめ」

講師 北河直子
(中野区立歴史民俗資料館 学芸員)
日時 平成31年2月23日(土) 13:30～15:00
場所 岐阜県博物館・けんぱくホール(定員120人)

(4) 岐阜県博物館学芸員によるギャラリートーク

講師 岐阜県博物館学芸員
日時 平成31年1月27日(日)、2月24日(日)、
3月10日(日)
各日 13:30～14:00

※(1)のみ岐阜県図書館主催

6 その他

会期中(1月29日(火)～4月9日(火))、岐阜市内の商業施設(マーサ)でパネルと館蔵品を用いたミニ展示を実施し、展覧会の周知に努めた。

1 開催期間

平成30年10月10日(水)～平成30年11月12日(月)

2 主催、共催

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学学術アーカイブ整備実施部会

3 会場

岐阜大学図書館

4 趣旨

日本の近代化が急速に進められた明治時代、自然景観や名木、巨樹などの貴重な天然物が破壊され切り倒されるのを危惧し、法律をもって保護すべきであるという思いを説いた人物がいた。岐阜が誇る偉人、三好学（1862～1939）である。彼は、植物生理学を我が国に導入するとともに植物生態学を興し発展させるなど、植物学のパイオニアであり、桜や花菖蒲に関する研究報告など数多くの名著を残す。本企画展では、三好学の功績について、東京大学総合研究博物館所蔵資料の複製や岩村をルーツと示す資料を中心に紹介した。また、今私たちが岐阜県内で見ることのできる貴重な天然記念物を紹介することで、三好学の天然記念物にかけた熱い思いを実感できる連携企画移動展とした。

5 展示構成

(1) 天然記念物の祖三好学の生涯

三好学は、恵那市岩村で幼少の大切な時期を過ごした。教員となった彼は、瑞浪市の土岐小学校では若くして校長まで務めた。岐阜で育まれた彼の才能は、現在の東京大学進学とともに開花し植物学の分野で発揮され、植物生理学や植物生態学の分野で研究成果を多く残した。特にサクラの研究に熱心で「桜の博士」とよばれ、新種の記載も行った。そんな彼の生涯を紹介した。

【主な展示資料】

- ・「三好学が歩いた道筋を書き入れた『濃飛両国地理明細新全図』」（三好学のひ孫であり、岐阜大学応用生物科学部石田仁准教授が所有）
- ・「三好学採取標本『野中の桜』」（東京大学総合研究博物館から当館に寄贈）
- ・土岐小学校在任中に、終業式のスピーチ原稿など、詳細に記録された授業日誌（恵那市提供）
- ・大学の授業でノートに描いた植物スケッチの複製（東京大学総合研究博物館提供）



標本「野中の桜」当館蔵

(2) 天然記念物の祖 三好学

我が国において、貴重な自然物が「天然記念物」として保護されている。それは、三好学が明治39年に日本で初めて訴えたことがきっかけとなり、のちに「史蹟名勝天然記念物保護法」（現文化財保護法）が制定されたためである。そのきっかけとなった雑誌投稿文を紹介した。

【展示資料】

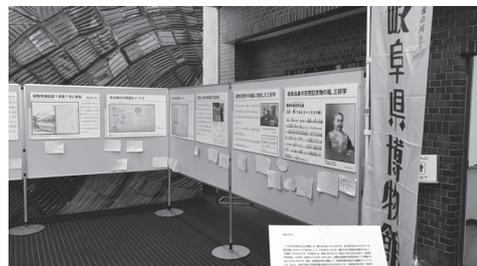
- ・「名木ノ伐滅并に其保存ノ必要」東洋學藝雑誌の一部を複製

(3) 岐阜県の天然記念物

健脚であった三好学は、天然記念物の調査員として全国を歩きまわり調査報告を行った。初めに指定されたもののひとつは、中津川市の「坂本のハナノキ自生地」（写真提供林千洋氏）である。その他岐阜県を代表する天然記念物をパネル紹介した。

【展示資料】

- ・本巣市「根尾谷淡墨ザクラ」写真（本巣市教育委員会提供）
- ・郡上市「石徹白のスギ」写真（郡上市教育委員会提供）



展示風景

6 関連事業

明治150年ミニ企画展

『明治に発想！』

天然記念物の祖三好学・岐阜県誕生』

開催期間：平成30年6月9日（土）

～平成30年7月16日（月）

場 所：岐阜県博物館本館4階 企画展示室

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	<p>現代の刀装職方と金工美濃彫展 ～匠の技と雅な刀装具～ 出展者 日本美術刀剣保存協会 岐阜県支部 平成30年4月7日(土) ～5月27日(日) 来場者数：7,599人</p>	<p>日本美術刀剣保存協会岐阜県支部による特別企画展「兼定 刀都関の名工」に関連した展示。現代の職方(柄巻師・鞆師・塗師・白銀師)が匠の技を駆使して作り上げた刀装19口とその刀身7振り、さらに郷土が誇る金工美濃彫(鐺・目貫・縁頭・筭、小柄)の優品55点を展示。</p>	
2	<p>《明治150年・福澤桃介生誕150年記念》諭吉から桃介へ～日本近代化の軌跡～ 出展者 ユネスコクラブ 日本ライン 平成30年6月9日(土) ～7月16日(月・祝) 来場者数：5,560人</p>	<p>明治150年と福澤桃介生誕150年を記念した展示。多治見市在住の坂本浩一氏が収集した福澤諭吉関連資料、福澤桃介が建設した大井ダム関連の資料、桃介による大井ダム建設を支援した川上貞奴に関連した資料約100点を展示。</p>	
3	<p>夢虫! 熱虫! 懐かしの漫画・アニメコレクション ～過去から未来への贈り物～ 出展者 林真司(犬山市) 小池信純(名古屋市) 平成30年7月28日(土) ～9月24日(月・振) 来場者数：6,668人</p>	<p>犬山市在住の林真司氏が収集した手塚治虫グッズと名古屋市在住の小池信純氏の鉄腕アトムグッズの展示。林氏は漫画やカバン、筆記用具など様々な虫プロ時代の本やグッズなど約1000点、小池氏は鉄腕アトム関連のグッズ約100点を展示。</p>	
4	<p>ギネス認定 きものコレクション ～岐阜ゆかりのきものたち～ 出展者 樋口富喜子 (揖斐川町) 平成30年10月6日(土) ～11月25日(日) 来場者数：4,576人</p>	<p>揖斐川町在住で樋口富喜子氏が収集した着物や帯の展示。岐阜県出身の人間国宝山田真や宗廣力三らの作品や鶴飼、ひょうたんなど岐阜に関連した意匠が描かれたきものなど、岐阜県ゆかりのきものを前期と後期に分けて、約100点を展示。</p>	
5	<p>ようこそ「新生代」の 化石の世界へ 出展者 飯村強(大津市) 渡辺基文(瑞浪市) 平成30年12月8日(土)～ 平成31年1月27日(日) 来場者数：2,868人</p>	<p>滋賀県大津市在住の飯村強氏や瑞浪市在住の渡辺基文氏をはじめ8人の収集家・研究者による展示。岐阜県を中心に周辺の地域から産出した新生代の化石約550点を各出展者が独自の方法で展示し、多様な「新生代」の姿を紹介。</p>	
6	<p>井戸家のお雛様 ～圧巻! 古今東西雛揃え!～ 出展者 井戸美千代(富加町) 平成31年2月16日(土)～ 3月24日(日) 来場者数：5,823人</p>	<p>富加町在住の井戸氏が収集してきた雛人形、雛道具の展示。江戸、京都の古今雛、明治から昭和に至る御殿飾りを展示、あわせて雛道具や当時の生活を垣間見ることができるお勝手道具も展示。</p>	

2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物やギャラリートークを開催した。

(1) 第3回展示「夢虫！熱虫！懐かしの漫画・アニメコレクション ～過去から未来への贈り物～」

講座 熱中凝歴人倶楽部プレゼンツ

「僕らはあの頃の未来に生きている」

日時 平成30年8月26日（日） 13:30～15:00

講師 林 真司・小池 信純・渡辺 淑人・

稲垣 高広・小野 和弘

会場 けんぱくホール

マイミュージアムギャラリー第3回展示「夢虫！熱虫！懐かしの漫画・アニメコレクション」の出展者の小池信純氏をナビゲーターに、パネリストに出展者の林真司氏、映像グッズコレクターの渡辺淑人氏、藤子不二雄グッズコレクターの稲垣高広氏、プラモデルコレクターの小野和弘氏をお招きし、それぞれのパネリストがコレクションを始めた動機やコレクション保管方法、子どもの頃描いていた未来について今どう思うかなどについてお話した。



(2) 第4回展示「ギネス認定きものコレクション ～岐阜ゆかりのきものたち～」

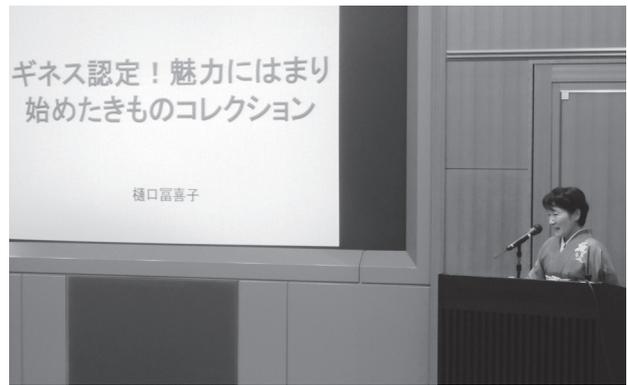
講座 「ギネス認定！魅力にはまり、始めたきものコレクション」

日時 平成30年10月13日（土） 13:30～15:00

講師 樋口 富喜子

会場 けんぱくホール

出展者の樋口氏がコレクションを始めたきっかけやギネス認定に至るまでの道のり、テレビ出演の秘話、開催中の「ギネス認定！きものコレクション～岐阜ゆかりのきものたち～」の見どころ、これからの目標などについてお話した。



(3) 第6回展示「井戸家のお雛様 ～圧巻！古今東西雛揃え！～」ギャラリートーク

日時 展示期間中の毎週土曜・日曜日

13:30～14:00

講師 井戸 美千代

会場 マイミュージアムギャラリー内



なお、第2回展示「《明治150年・福澤桃介生誕150年記念》論吉から桃介へ～日本近代化の軌跡～」に関連したシンポジウム「受け継がれしもの～論吉から桃介へ、そして現代へ～」は、台風のため中止となった。

3 本館展示との連携

本年度は、以下の展示について本館展示との関連性が大きいことから、本館とマイミュージアムギャラリーを相互に観覧できるような導線の工夫や広報を行った。

1. 第1回展示「現代の刀装職方と金工美濃彫展～匠の技と雅な刀装具～」と特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
2. 第2回展示「《明治150年記念・福澤桃介生誕150年記念》論吉から桃介へ～日本近代化の軌跡～」と明治150年ミニ展「明治に発想！天然記念物の祖 三好 学」・「岐阜県誕生 一清流の国ぎふの源流を訪ねて」
3. 第5回展示「ようこそ「新生代」の化石の世界へ」と企画展「化石が語る繁栄と絶滅～瑞浪層群の哺乳類化石～」

6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

①考古

ア 展示に係る調査研究

(ア) 三休滝一括出土銭

人文展示室にて常設展示している高山市国府町三休滝の滝壺近くで見つかった大量出土銭について、資料集成などで利用できるよう調査研究報告で紹介した。千枚を超える中世の渡来銭が見つかり、その半数が当館に寄託されている。一覧表、拓影などを提示した。

(イ) 市町村連携展示

各務原市と関市と連携し、古墳を扱った展示を企画した。隣接する両市であるが、各務原市には県下有数の規模を誇る前方後円墳がいくつも知られるのに対し、関市では小規模の前方後円墳がわずかにみられるだけである。その代わりに指摘できる関市の古墳の特徴などから、両市の違いを紹介した。

(ウ) 関高校との連携展示

輪之内町出身で、戦時中に満州で教員や図書館長を務めた渡辺三三（さんぞう）氏が、調査した遺跡の資料を紹介するとともに、渡辺氏の業績を紹介した。

(エ) 杉原千畝と命のビザ

杉原千畝の足跡を追う写真家寿福滋氏の写真展である。寿福氏は文化財を扱う写真家としても知られ、その業績なども紹介した。

②歴史

ア 展示にかかわる調査研究など

特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家一大御乳・池田恒興・輝政の戦い」にむけて、調査研究を行い、その成果を図録や展示パネルなどとして示した。

けんぱく・瑞浪市連携企画展示「池田家ゆかりの小里城跡」、けんぱく・関市連携企画展示「日竜峯寺多宝塔壁画の世界」にむけて、資料調査等を行った。

人文展示室常設展の一部変更にむけて、資料調査を行った。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

イ その他

博物館学芸講座「入門 岐阜県の古代史 ～美濃・飛驒の人名～」に向けた調査研究を行った。

③民俗分野

ア 常設展示にかかわる調査研究

(1) 昭和の居間コーナー

秋季の展示替えに際し、「昭和歌謡の世界」として1960～80年代のレコードを展示し、今年亡くなったさくらももこさん（1965-2018）とさくらさんの人気漫画・アニメ「ちびまる子ちゃん」の登場人物のモデルとなった西城秀樹（1955-2018）にちなみ、西城さんと併せて御三家と称された美濃市出身の野口五郎さんのレコードなどを展示し「追悼さくらももこさん」コーナーを設けた。

2019年「機動戦士ガンダム」テレビシリーズ放映40周年となることから、2019年1月よりガンダム・メモリアルと題してガンプラ、主題歌レコード等をジオラマ内に追加展示している。

(2) 旧徳山村民家（旧宮川家住宅）

昨年度の申請により国登録有形文化財に登録された。今後は、補助金事業として保存活用計画の策定、それに伴う整備（耐震補強、茅葺屋根葺き替え工事等）を順次実施予定である。

イ 特別展等にかかわる調査研究

今年度の単発事業として特別企画展「兼定 刀都・関の名工」（2018/4/27-6/24）を実施した。昨今の刀剣ブームの中、いわゆる刀剣女子（20～40歳代の女性）が全国から来館し、開館前の行列や入場制限等、近年にない賑わいとなった。

昨年度の県図書館展示室整備に伴い、今年度より実施している博物館・図書館連携企画展の一環として「芝居大国！岐阜」（2019/1/12-3/10）を開催し、近年盛んな県内の地芝居を紹介した。

また、次年度に向け、特別展の企画・準備を進めている。

ウ 教育普及事業

今年度はサポーターに、「芝居大国！岐阜」展における新聞記事スクラップの整理作業、IPM活動（虫トラップの確認）で協力を仰いだ。

④美術工芸分野

ア 博物館・図書館連携企画展にかかわる調査研究

昨年度から引き続き、博物館・図書館連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」の開催に向けて調査研究を行った。作品実査、写真観察、文献渉猟などを実施した。これらの成果によって、平成27年度に開催した同名の展覧会で展示した会場内解説パネルに対して総点検を行い、改訂を行うことができた。

イ 常設展にかかわる調査研究

収蔵資料や地域の文化財については常に継続して調査研究を行っている。その成果を披露する場として常設展がある。常設展の中にコーナーを特別に設けて行ったテーマ展示は、平成30年度は次のとおりである。

- ・ミニ企画展示「鋳工・成木一成のチャレンジ」
- ・江戸時代の庶民が信仰した仏像
- ・済法寺の仏像
- ・成木一成作の鋳
- ・けんぱく・関市連携企画展示「日竜峯寺多宝塔壁画の世界」

ウ 岐阜県の文化財にかかわる調査研究

外部の機関や所蔵者等から文化財（主に宗教彫刻）に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う調査研究活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けられる。ただし、公共に益することがない、個人の財産査定等は引き受けていない。

平成30年度も依頼・相談等に応じる機会があった。これらは県内の文化財について知見を得る絶好の機会であり、当館にとっても有益である。今後も県内の文化財の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動などに資するよう努めたい。

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
- (イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物館標本商について

イ 原著論文等

説田健一. 2018. 学校理科室の剥製は果たしてゴミなのか? : 標本ラベルから探る剥製の歴史的な価値 (特集 博物館における二次資料). 博物館研究 53(8): 23-25.

説田健一. 2019. 新たに寄贈された柳原要二鳥類コレクションについて. 岐阜県博物館調査研究報告 39:3-5.

楠田哲士・向井貴彦・田上正隆・田村ユカ・矢部 隆・説田健一. 2019. 岐阜県内における外来の水生および陸生のカメ類の発見記録(2007~2018年). 岐阜県博物館調査研究報告 39:7-14.

楠田哲士・矢部 隆・原口句美・野呂達哉・田上正隆・説田健一. 2019. 岐阜県内でのカミツキガメおよびワニガメ属の捕獲記録(2003~2018年). 岐阜県博物館調査研究報告 39:15-20.

ウ 学会発表など

説田健一. 2018. 岐阜県内の高等学校に保管されていた剥製について, 日本科学史学会第 65 回年会, 東京, 2018/5.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組(動物標本作製サークル)、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト 1000 里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会(ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査. 岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO法人ふるさと自然再生研究会と共同)

②植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- (ウ) 所蔵標本データの活用方法の開発

イ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査(過去 10 年の調査報告を目的としたミニ企画展の実施)

- (イ) 標本整理及び展示資料作成

ウ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会(県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査)
- (イ) 岐阜県植物研究会(岐阜県内の植物の調査)
- (ウ) 岐阜大学(標本合同調査保管、展示資料開発、連携企画展の実施)
- (エ) パターン把握を通して環境リテラシーを高める現職教員研修プログラムの作成を目指す会. 科学研究費.(長良川の上流・中流・下流域の調査)

③地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 瑞浪層群の化石調査

イ 原著論文等

高津翔平. 2018. タイ国東北部の足跡産地 Huai Dam Chum から産する恐竜足跡化石群の分類学的記載 - 印跡動物オルニトミモサウルス類の可能性を探る -. 地学雑誌, 127, N109.

ウ 国内学会発表

村上達郎・高津翔平・鏑本武久. 岐阜県の中新統瑞浪層群から産出した”サイ科”の上腕骨化石の再検討. 日本古生物学会 2018 年年会, P19, 宮城, 2018/6.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- ・百年公園内に埋設された手取層群化石含有層の岩石の調査(ジオグループ)
- ・県内外産化石クリーニング作業(ジオグループ)
- ・県内の化石産地における化石採集

オ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との共同研究
- (イ) タイ国産資源局地質調査所(DMR: Department of Mineral Resources of Thailand)との共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体(法人等)」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務(デジタルアーカイブ)及び、インターネット公開に係る業務、並びにマイ・ミュージアム棟活性化事業で構成されている。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

今回のマイミュージアムギャラリー展示は、昨年度から試行的に始めた本館展示との連携を継続し、本館とマイ・ミュージアム棟との間に来館者の流動性を高めることができた。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

- ・日時 平成30年12月19日(木)
13時30分～15時
- ・場所 マイ・ミュージアム棟3階
けんぱくホール

ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成30年度は7年度からの通番で、第173号から第178号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定95%確率で統計学的に推定した結果、8.9%から19.5%内でチラシには来館誘導効果があることが分かっており、平成30年度も昨年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果を得た。結果は展示会の平均来館者数は昨年度の中央値(メジアン:Me)を上回る結果となった。

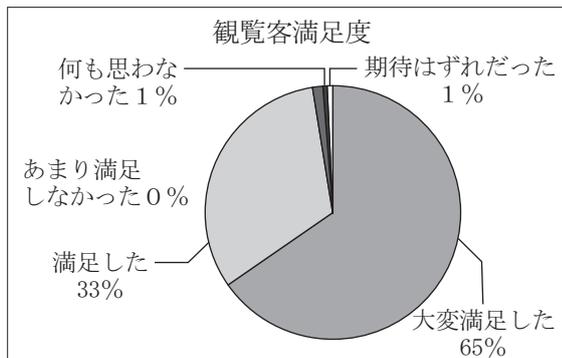
エ 博物館同人としての登録

平成30年度時点での同人登録者数は98名である。今年度以降は、期限後の同人の登録を更新しないことを決定した。

オ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えられる。

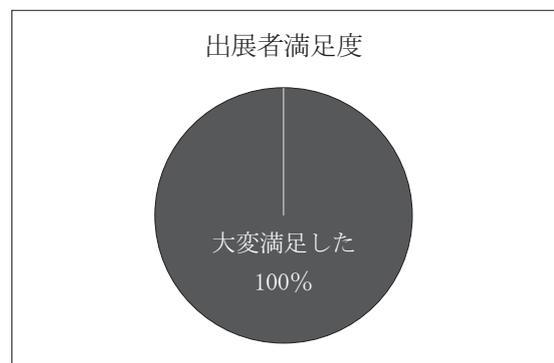


【図1 観覧者の満足度(n=519:平成30年度4月～3月)】

更に、図2から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものと見える。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

また、平成24年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を平成30年度も展示会に活かしたところ、読み手が利用しやすいよう、体系的で分かりやすいキャプションを示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。



【図2 出展者の満足度(n=6:平成30年度)】

カ 平成30年度の出展申し込み

平成31年度出展候補としての平成30年11月までの申込みは13件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成27年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施している。

キ 平成31年度展示計画及び今後の課題

平成30年度出展候補13件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き6件の展示を決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	元岐阜県博物館長
岩井 弘栄	民間有識者
空 かなえ	関市協働推進部生涯学習課課長補佐
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
野口 美穂	民間有識者
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

②マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止せざるを得なくなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成21年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス(SaaS)に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成23年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。

図書資料のデータベース化については、目標を前倒しにし、平成24年度にデータの移行を完了した。図書担当職員の業務効率の向上のための支援を行っている。

また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化したことで収蔵品を一元管理することが可能となった。備品登録と収蔵資料との整合性も担保された。学芸員間の研究に資する情報源として利用できるよう業務を進めている。その中で、平成27年度は収蔵品の中から研究者や一般の方の利用を想定した収蔵品データベースのホームページを作成し、一部公開を行った。公開ページの中に「Pick Up」として当館学芸員の「お薦め資料」と銘打った資料データを公開し、閲覧された方々から高い評価をいただいている。現在551件程の特選収蔵品データとして公開している。研究者等にも利用しやすいものとするため、さらなる公開に向けてデータの精緻化を行っている。

イ けんぱくホールの活用

けんぱくホールでは、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図るとともに、平成26年度下半期から新たに立ち上げた事業として、「大人のための博物館講座」及び「ミュージアムシアター」を開始した。平成28年度からは講座名を「博物館学芸講座」と改名し県民等からの好評をいただいた。

③マイ・ミュージアム棟活性化事業について

平成30年度は、マイ・ミュージアム棟活性化事業として以下の2事業を重点的に行った。

ア 博物館学芸講座

イ ミュージアムシアター

ア)「博物館学芸講座」は、岐阜県博物館では、自然・歴史・文化等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的に専門的・学術的内容の講演会を実施した。

- 4月28日(土) 河部壮一郎・服部創紀(福井県立恐竜博物館 研究職員)
高津翔平(当館学芸員)
「若手恐竜研究者、岐阜で恐竜を語る」
- 6月9日(土) 堀江登志実(岡崎市美術博物館 学芸員)
「美濃の刀工について」
- 9月9日(日) 井上好章(岐阜県植物研究会・岐阜県自然観察指導役員)
「再び「葉草のふるさと 伊吹」の世界へ」
- 9月30日(日) 伊藤康晴(鳥取市歴史博物館 主任学芸員)
内池英樹(岡山県教育庁 文化財課長)
山田昭彦(当館学芸部長)
「池田家三代 一戦国に舞った揚羽蝶」
【中止】
- 10月21日(日) 谷口 央(首都大学東京 教授)
「池田輝政と美濃・三河」
- 12月16日(日) 宮田和周(福井県立大学恐竜学研究所 准教授)
「絶滅哺乳類ヒラマキウマ
～1,800万年前の姿に迫る～」
- 平成31年1月13日(日)
安藤佑介(瑞浪市化石博物館 学芸員)
「海のない岐阜県にクジラやエゾイガイがいた時代
～1,800万年前の様子を語る～」
- 2月23日(土) 北河直子(中野区立歴史民俗資料館 学芸員)
「獅子芝居のすすめ」
- 3月16日(土) 近藤大典(当館学芸員)
「入門 岐阜県の古代史
～美濃・飛驒の人名～」

イ)「ミュージアムシアター」は、毎週土・日曜日に岐阜県の歴史や伝統文化を紹介した作品や恐竜や自然保護等に関する作品など、優れた映像を上映し、青少年以上の年齢の来館者に郷土に対する理解や自然科学への関心を深め、その魅力を再認識いただく機会を提供することを目的に実施した。

また、祝日には、子ども(幼児・低学年)向けに「日本むかし話」と「世界名作童話」を上映し、子供の情操教育に資するとともに親子の会話や団らんの素材としても活用いただけることを目的に実施した。

7 資料収集活動（平成31年3月31日現在）

(1) 収蔵資料数

①人文分野

分野	資料数(件)
考古	461
歴史	1,401
民俗	1,648
美術工芸	1,288
合計	4,798

②自然分野

分野	資料数(件)
動物	37,100
植物	90,128
岩石鉱物	2,136
化石	1,694
合計	131,058
総合計	135,856

(2) 平成30年度寄贈資料一覧

①人文分野

資料名	件数
成木一成 嶺之松風図罽	1

②自然分野

資料名	件数
剥製及び骨格	7
液浸標本	15
鳥類の剥製標本	27
ワシの剥製及び毛皮	11
アカオネツタイチョウ	1
三好学桜標本 野中の桜	1
神岡鉱山鉱物標本	43
岐阜県内の岩石・鉱物、化石標本	45
カニサイの肋骨化石	1
魚類化石	3
植物化石	2
ナノサウルス頭骨模型	1
ダチョウの卵	1
エミューの卵殻片	1
恐竜化石ほか一式	19
恐竜頭骨模型	2

(3) 平成30年度購入資料一覧

①人文分野

資料名	件数
豊臣秀吉朱印状	1
羽柴秀吉知行目録	1

②自然分野

資料名	件数
タヌキの本剥製の胴芯及び頭芯	2

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催し物開催状況

催し物は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室（子ども・家族向け）」「県博教室（大人向け）」、大人向けの各種講演会「特別展・企画展講演会」「マイミュージアム

ムギャラリー展示関連講演会」「博物館学芸講座」「博物館学芸講座特別企画」、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画を、各係が担当して計49回を実施した。

三重県総合博物館（MieMu）との交流企画では、本年度も人文分野、自然分野それぞれ1名、計2名の講師を相互に派遣して講演会を開催した。

<催しもの開催状況一覧>

事業名	期日	定員	参加	内容
体験教室	4/15	20名	16名	百年公園で春を見つけよう
	4/28	なし	39名	フリートーク「恐竜を語ろう 一骨と脳と足跡とー」
	4/30	30名	37名	こんな恐竜いたらいいな
	5/ 3	30名	35名	まが玉をつくろう
	5/ 4	50名	75名	笛をつくって遊ぼう
	5/ 5	50名	103名	こどもの日特別企画「水晶ジオード割り」
	5/19	100名	75名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ「化石レプリカづくり」
	5/20	100名	113名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ「化石レプリカづくり」
	5/26	なし	測定不能	ギャラリートーク「兼定を装った拵」
	6/ 3	なし	中止	ギャラリートーク「黒田長政所持の刀剣について 兼定を中心に」
	6/ 9	なし	中止	体験講座「帯刀体験 本物の刀を腰に差してみよう」
	6/10	なし	142名	ギャラリートーク「兼定後代の名工、会津十一代兼定の作風について」
	7/15	30名	43名	水晶ジオード割り体験 ークリスタルのひみつを探ろうー
	7/28	50名	61名	恐竜を描こう
	7/29	30組	91名	ナイトミュージアム①
	8/ 4	25名	31名	恐竜を造ろう
	8/ 5	25名	24名	家族で昆虫標本をつくろう
	8/11	20名	8名	ニワトリの頭骨標本をつくろう
	8/12	30組	中止	ナイトミュージアム②
	10/13	30名	29名	学芸員と見学する小里城の山城遺構
	10/20	100名	95名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ「化石取り出し体験」
	10/21	100名	117名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ「化石取り出し体験」
	10/27	20名	15名	百年公園で秋を見つけよう
	11/ 3	なし	155名	岐阜～ふるさとを学ぶ日（無料開放日） けんぱくワークショップ
	11/18	30名	31名	木の実を使って季節飾りやアクセサリーをつくろう
	11/23	80名	62名	オータム・ナイトミュージアム
11/24	50名	86名	徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう	
12/ 1	30名	20名	瑞浪市化石博物館見学及び化石採集	
12/23	60名	63名	クリスマス・ナイトミュージアム	
1/ 6	200名	200名	七草がゆを食べよう	
1/ 6	なし	測定不能	ちょっと昔の正月遊びを体験しよう	
1/20	100名	88名	貝化石発掘体験	
2/ 2	60名	60名	ワークショップ「歌舞伎の魅力を知ろう」	
講座 講演会	4/28	120名	77名	博物館学芸講座「若手恐竜研究者、岐阜で恐竜を語る」
	6/ 2	120名	147名	特別展講演会「和泉守兼定と土方歳三」
	6/ 9	120名	118名	博物館学芸講座特別企画「美濃の刀工について」
	6/23	120名	84名	博物館学芸講座特別企画「海洋科学から見た南海トラフ」
	7/ 7	120名	中止	明治150年・福澤桃介生誕150年記念シンポジウム「受け継がれしもの ー論吉から桃介へ、そして現代へー」
	7/22	120名	72名	特別展講演会「標本バカの世界 ー無目的、無制限、無計画な標本収集への招待ー」
	8/19	120名	42名	特別展講演会「標本土って何する仕事？ ー動物標本の文化史ー」
	8/26	120名	41名	熱中凝歴人倶楽部プレゼンツ「僕らはあの頃の未来に生きている」
	9/ 9	120名	106名	博物館学芸講座「再び『薬草のふるさと 伊吹』の世界へ」
	9/30	120名	中止	博物館学芸講座「池田家三代 ー戦国に舞った揚羽蝶ー」
	10/ 6	120名	51名	三重県総合博物館交流企画「お伊勢参りの今昔～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる」
	10/ 8	120名	115名	特別展講演会「関ヶ原合戦図屏風の魅力」
	10/13	120名	45名	ギネス認定！魅力にはまり、始めたきものコレクション
	10/21	120名	104名	博物館学芸講座 特別企画「池田輝政と美濃・三河」
	11/ 4	120名	105名	特別展講演会「池田恒興像考 ー池田家の始祖認識と画像ー」
	11/25	90名	43名	博物館・岐阜県図書館連携企画展講演会「歌川国芳『木曾街道六十九次』を読み解く」
	12/16	120名	64名	博物館学芸講座特別企画「絶滅哺乳類ヒラマキウマ ー1,800万年前の姿に迫るー」
	1/13	120名	117名	博物館学芸講座「海のない岐阜県にクジラやエゾイガイがいた時代 ー1800万年前の様子を語るー」
	2/ 3	90名	35名	博物館・岐阜県図書館連携企画展講演会「美濃飛驒の地芝居案内」
	2/23	120名	73名	博物館学芸講座「獅子芝居のすすめ」
3/16	120名	87名	博物館学芸講座「入門 岐阜県の古代史 ー美濃・飛驒の人名ー」	
		合計	3,440名	

②わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、主に第2、4日曜日午後に開催している。今年度は、26回開催し、1,993人の参加者があった。体験メニューは、化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本箱づくりを定番とし、期間限定特別メニューとして「どんぐりフォトフレームづくり」「化石掘り出し体験」「水晶ジオード割り体験」などを実施した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
26	1,993	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本箱づくり、どんぐりフォトフレームづくり、化石掘り出し体験、水晶ジオード割り体験など

③展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。延べ406回、2,089人の参加があった。テーマは「恐竜の話」、「合掌造りの話」、「鶴飼の話」、「輪中の話」、「大昔の人々のくらしの話」、「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、毎日日替わりで実施した。特別展・企画展解説（ギャラリートーク）は、各展覧会開催中の日曜日の午後を中心に、担当学芸員が行った。延べ28回、1,869人の参加があった。それぞれの展示物について、来館者の年代やニーズ等に合わせて分かりやすく解説した。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	406	2,089	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	28	1,869	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④移動博物館・出張けんぱく教室

移動博物館・出張けんぱく教室は、①遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること、②来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること、③子どもや若者が多く集う近隣市町村の民間商業施設やイベントにおいても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めてもらう機会とすることを目的としている。なお、「移動博物館」とは、事業の実施主体は他施設であるが、展示資料のうち、当館の資料が半分以上で、当館の共催や協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせた自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するもののことをいう。また、「出張けんぱく教室」とは、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するものである。

<移動博物館> ※他館（他団体）が企画・運営主体の展覧会→◎、教育普及的色彩の濃い展示（+体験教室）→☆

	実施期間	内容	内 容	開催地	種別	参加人数(人)
1	4/10～6/25 マーサ de 博物館 ◎	展示	～パネルミュージアム～「刀剣の押形」	マーサ21	共催	測定不能
2	H30/4/14 山県市まるごと市 ☆	展示	「古生物の化石」	四国山香りの森公園	協力	132
3	4/21 GIFU マスターワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	モレラ岐阜	共催	85
4	5/3～8/1 GIFU マスターシリーズ ◎	展示	GIFU クイズラリー「刀剣」	モレラ岐阜	共催	測定不能
5	5/19,20 スプリング・フェスティバル ☆	展示解説	「古生物の化石」「古生物の化石について」	百年公園	協力	測定不能
6	6/26～9/6 マーサ de 博物館 ◎	展示	～パネルミュージアム～「理科室から 標本の世界」	マーサ21	共催	測定不能
7	6/30 カラフルタウンワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	カラフルタウン岐阜	共催	123

	実施期間	内容	内 容	開催地	種別	参加人数 (人)
8	7/14～8/31 わくわくダイノワールド ◎	展示	恐竜の骨格模型・実物恐竜の復元画	モレラ岐阜	共催	78,904
9	7/21 GIFU マスターワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	モレラ岐阜	共催	91
10	8/2～11/21 GIFU マスターシリーズ ◎	展示	GIFU クイズラリー「理科室から 標本の世界」	モレラ岐阜	共催	測定不能
11	9/7～10/31 マーサ de 博物館 ◎	展示	～パネルミュージアム～「関ヶ原合戦図屏風」	マーサ 2 1	共催	測定不能
12	9/8 カラフルタウンワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	カラフルタウン岐阜	共催	122
13	9/15～10/28 けんぱくミニ恐竜展 ◎	展示	恐竜の骨格模型・実物恐竜の復元画	マーゴ	共催	35,448
14	9/15 マーゴワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	マーゴ	共催	102
15	10/7GIFU マスターワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	モレラ岐阜	共催	63
16	10/14 マーゴワークショップ ☆	展示実演	「古生物の化石」化石クリーニング実演	マーゴ	共催	103
17	10/20,21 オータム・フェスティバル ☆	展示解説	「古生物の化石」「古生物の化石について」	百年公園	協力	212
18	11/3 文化の森 秋祭り ☆	展示	「古生物の化石」	岐阜県図書館	協力	258
19	11/10 マーサワークショップ ☆	展示解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	マーサ 2 1	共催	83
20	11/17 ぎふ サイエンスフェスティバル ☆	展示	「古生物の化石」	岐阜市文化センター	協力	334
21	11/22～3/13 GIFU マスターシリーズ ◎	展示	GIFU クイズラリー「岐阜県の自然と歴史・文化」	モレラ岐阜	共催	測定不能
22	12/1～H31/1/28 マーサ de 博物館 ◎	展示	～パネルミュージアム～「哺乳類化石」関連	マーサ 2 1	共催	測定不能
23	12/2 SEKI いきいきフェスタ ☆	展示	「古生物の化石」	関市わかさプラザ	協力	151
24	12/8 カラフルタウンワークショップ ☆	解説	「県内産出の化石」「古生物のひみつを探る！」	カラフルタウン岐阜	共催	94
25	1/19 ハートフルフェスタ 2018 ☆	展示解説	「古生物の化石」「古生物の化石について」	ハートフルスクエア	協力	158
26	1/29～4/9 マーサ de 博物館 ◎	展示	～パネルミュージアム～「芝居大国」関連	マーサ 2 1	共催	測定不能
27	2/2 河川環境楽園ワークショップ ☆	展示	「古生物の化石」	河川環境楽園	協力	71
28	2/14 マーゴワークショップ ☆	展示実演	「古生物の化石」化石クリーニング実演	マーゴ	共催	103
29	2/23 県美術館ワークショップ「ギザリカ」 ☆	展示解説	「古生物の化石」	ぎふ清流文化プラザ	協力	172
計						116,809

〈出張けんぱく教室〉

	実施期間	内容	内 容	開催地	種別	参加人数 (人)
1	4/14 山県市まるごと市	体験	化石取り出し体験	四国山香りの森公園	協力	132
2	4/21 GIFU マスターワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	60
3	5/19, 20 スプリング・フェスティバル	体験	化石レプリカづくり化石掘り出し体験	百年公園	協力	188
4	6/30 カラフルタウンワークショップ	体験	化石レプリカづくり	カラフルタウン岐阜	共催	70
5	7/21 GIFU マスターワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	61
6	8/4 キッズチャレンジウィーク	体験	火おこし体験	モレラ岐阜	共催	18
7	9/8 カラフルタウンワークショップ	体験	化石レプリカづくり	カラフルタウン岐阜	共催	71
8	9/15 マーゴワークショップ	体験	化石レプリカづくり	マーゴ	共催	70
9	9/17, 24 モレラワークショップ	体験	化石取り出し体験	モレラ岐阜	共催	85
10	10/7 GIFU マスターワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	45
11	10/14 マーゴワークショップ	体験	化石取り出し体験	マーゴ	共催	59
12	10/20, 21 オータム・フェスティバル	体験	化石レプリカづくり化石掘り出し体験	百年公園	協力	212
13	11/3 文化の森 秋祭り	展示	「古生物の化石」	岐阜県図書館	協力	258
14	11/10 マーサワークショップ	体験	化石レプリカづくり	マーサ 2 1	共催	83
15	11/17 ぎふ サイエンスフェスティバル	体験	化石レプリカづくり	岐阜市文化センター	協力	334
16	12/2 SEKI いきいきフェスタ	体験	化石取り出し体験	関市わかさプラザ	協力	151
17	12/8 カラフルタウンワークショップ	体験	化石レプリカづくり	カラフルタウン岐阜	共催	94
18	1/19 ハートフルフェスタ 2018	体験	化石レプリカづくり	ハートフルスクエア	協力	158
19	2/2 河川環境楽園ワークショップ	体験	化石取り出し体験	河川環境楽園	協力	71
20	2/14 マーゴワークショップ	展示実演	「古生物の化石」化石クリーニング実演	マーゴ	共催	103
21	2/23 県美術館ワークショップギャザリング	体験	化石取り出し体験	ぎふ清流文化プラザ	協力	172
計						2,495

⑤団体利用

団体利用は、183 団体、10,686 人で次表のとおりである。美濃地区、岐阜地区、西濃地区、愛知県北部（一宮市、稲沢市、江南市）の小学校や、博物館近隣の幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」や「秋のおもちゃづくり」などの体験活動を、百年公園内の自然も活用して実施した。

展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。また、人文展示室や合掌づくりの模型、昭和の居間を活用して、小学校社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説も行った。

今年度も、「秋みつけ」「秋のおもちゃづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポーターの協力を得ながら、活動の準備や片付け、子どもたちへの指導などの支援を行った。

<平成30年度 団体利用一覧>

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
4	13	金		岐阜県小中教育研究会事務職員部会	県職員	9	施設利用
4	15	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	145	展示解説・自由観覧
4	21	土		岐阜県植物誌調査会	一般	16	施設利用
4	27	金	関市	関市立旭ヶ丘中学校	中2	146	開場式参加・展示解説
5	2	水	愛知県(北名古屋市)	北名古屋市立五条小学校	小2	73	展示解説・展示セルフガイド
5	10	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	24	施設利用
5	11	金	岐阜市	岐阜県教育委員会	一般	8	施設利用
5	16	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小2	75	展示解説・展示セルフガイド
5	17	木	愛知県(春日井市)	春日井市岩成台中学校	中2	103	展示解説・自由観覧
5	18	金	関市	関市立金竜小学校	小1	132	春見つけ・展示解説・展示セルフガイド
5	18	金	愛知県(日進市)	日進市立日進中学校	中2	239	自由観覧
5	20	日	岐阜市	岐阜保健短期大学	大学生	105	施設利用・自由見学
5	24	木	愛知県(小牧市)	小牧市本庄小学校	小5	134	展示セルフガイド
5	24	木	岐阜市	岐阜市立芥見東小学校	小6	71	展示解説・展示セルフガイド
5	25	金	愛知県(稲沢市)	稲沢市立下津小学校	小3	154	展示解説・展示セルフガイド
5	25	金	関市	関市立金竜小学校	小3	145	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
5	26	土	岐阜市	岐阜 JFC	小学生	35	自由観覧
5	27	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大学生	31	施設利用・自由観覧
5	30	水		岐阜県小学校社会科研究部会	教員	55	施設利用
6	5	火		高教研公民・地理歴史部会総会	教員	95	施設利用
6	7	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小4	53	展示解説・展示セルフガイド
6	9	土	関市	岐阜信用金庫	一般	30	展示解説・自由観覧
6	13	水	各務原市	各務原中央ライフデザインセンターライフカレッジ蘇原	一般	43	自由観覧・化石レプリカづくり
6	14	木	美濃加茂市	美濃加茂市立蜂屋小学校	小3	86	展示解説・自由観覧
6	14	木	美濃市	ふたば幼稚園	年長	32	展示解説・展示セルフガイド
6	15	金	愛知県(名古屋市)	名古屋教育文化センター	年少	37	展示解説・展示セルフガイド
6	24	日	岐阜市	岐阜ボーイスカウト17団	小学生	24	自由観覧
6	27	水	各務原市	各務原中央ライフデザインセンターライフカレッジ蘇原	一般	45	自由観覧・化石レプリカづくり
6	29	金		岐阜県小中学校英語研究部会	教員	100	施設利用
7	4	水		岐阜県高等学校教育研究会理化部会	教員	46	施設利用
7	12	木	愛知県(犬山市)	犬山市立犬山北小学校	小5	105	展示解説・展示セルフガイド
7	13	金	八百津町	八百津保育園	年長	31	展示解説・自由観覧
7	13	金	愛知県(一宮市)	学校法人藤山学園 平安幼稚園	年長	111	展示解説・展示セルフガイド
7	14	土	各務原市	中部学院大学	大学生	94	自由観覧
7	18	水	多治見市	多治見市立滝呂小学校	小6	101	展示解説・展示セルフガイド
7	21	土	岐阜市	キッズステーションあおぞら芥見	小学～高校	16	化石レプリカ・化石取り出し・自由観覧
7	22	日		岐阜県高等学校文化連盟自然科学部会	高校生	19	施設利用
7	24	火	笠松町	笠松町夏の親子教室	小学生	17	展示解説・展示セルフガイド・特別展解説
7	24	火	岐阜市	キッズステーションあおぞら岐阜	小学生	16	自由見学
7	27	金	各務原市	各務原市小中学校教職員	教員	27	施設利用・自由観覧
7	31	火	各務原市	いきいき学習課 東ライフデザインセンター	小学生	18	展示解説・化石レプリカづくり
7	31	火	各務原市	放課後デイサービスライラック	小学生	45	展示解説・自由観覧
7	31	火	岐阜市	カラタンキッズクラブ	小学生	32	特別展解説・展示解説・展示セルフガイド
8	1	水		岐阜県県民文化局	一般	17	施設利用
8	2	木		岐阜県高等学校文化連盟自然科学部会	高校生	203	施設利用・自由観覧
8	7	火	関市	関市中央公民館(関市夏休み親子講座)	児童	45	まが玉づくり
8	8	水	関市	マーゴ・キッズクラブ	小5,6	20	特別展解説・展示解説・展示セルフガイド
8	16	木	瑞浪市	麗澤瑞浪中学・高等学校	中, 高生	44	自由観覧
8	21	火	美濃加茂市	放課後等デイサービス 虹色キラリ	小学生	15	展示セルフガイド
8	24	金	愛知県(扶桑町)	小淵子ども会	児童	35	展示解説・展示セルフガイド
8	24	金	北方町	北方町教育研修会(理科)	教員	8	研修
8	30	木	岐阜市	かぐや第一・第三幼稚園	年長	46	展示解説・自由観覧
9	13	木	関市	関市立下有知小学校	小3	68	展示セルフガイド
9	14	金	愛知県(一宮市)	ラポルトインターナショナルスクール	年中	27	展示解説
9	14	金	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小6	73	特別展解説・展示解説
9	21	金	美濃市	一般社団法人 中濃法人会女性部会	一般	37	特別展解説・展示解説・展示セルフガイド
9	27	木	岐阜市	岐阜市立早田小学校	小1	75	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
9	28	金	養老町	養老町立笠郷小学校	小1	44	恐竜の話・化石レプリカづくり
10	2	火	関市	関市立武芸小学校	小1,2	39	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	2	火	大野町	大野町立南小学校	小1	33	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	2	火	関市	関市立寺尾小学校	小1,2	10	展示解説・展示セルフガイド
10	3	水	関市	関市立富野小学校	小1,2	36	展示セルフガイド・体験活動・秋みつけ
10	3	水	岐阜市	岐阜市立茜部小学校	小1	119	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	3	水	本巣市	本巣市立土貴野小学校	小1	25	展示セルフガイド・秋みつけ

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
10	3	水	七宗町	七宗町立上麻生小学校	小2	26	秋みつけ・展示解説・体験活動
10	3	水	中津川市	中津川市立福岡小学校	小4	29	展示解説・展示セルフガイド
10	4	木	関市	関市立武儀西小学校	小1, 2, 3	33	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	5	金	岐阜市	岐阜市立合渡小学校	小2	60	展示解説・展示セルフガイド
10	5	金	八百津町	八百津町立和知小学校	小1, 2	45	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
10	5	金	関市	関市立田原小学校	小2	45	里山オリエンテーリング・展示セルフガイド・体験活動
10	5	金	大垣市	大垣市立静里小学校	小1	51	展示解説・展示セルフガイド
10	5	金	愛知県(稲沢市)	稲沢市立稲沢東小学校	小3	118	展示解説・展示セルフガイド
10	10	水	大野町	大野町立東小学校	小3	53	展示解説・体験活動
10	10	水	関市	関市立上之保小学校	小1, 2	13	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	10	水	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1, 2	40	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	11	木	愛知県(江南市)	江南市立古知北小学校	小2	72	展示解説・展示セルフガイド
10	11	木	愛知県(岩倉市)	岩倉市立曾野小学校	小2	112	展示解説・展示セルフガイド
10	11	木	関市	関市立武儀東小学校	小1, 2, 3	36	展示解説・展示セルフガイド
10	11	木	岐阜市	岐阜市立市橋小学校	小4	139	展示解説・展示セルフガイド
10	11	木	恵那市	恵那市立中野方小学校	小3, 4	26	展示解説・展示セルフガイド
10	11	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	16	施設利用
10	12	金	関市	関市立博愛小学校	小1	33	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	12	金	関市	関市立博愛小学校	小2	37	展示解説・展示セルフガイド
10	12	金	関市	中部学院大学・短期大学部附属幼稚園	年長	74	自由観覧
10	12	金	瑞穂市	瑞穂市立西小学校	小1	47	秋みつけ・体験活動1・自由観覧
10	12	金	岐阜市	岐阜市立則武小学校	小1	92	秋みつけ・展示解説
10	13	土	本巣市	教屋子供会	小学生	26	体験活動・展示セルフガイド
10	14	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	15	展示解説・展示セルフガイド
10	16	火	可児市	可児市立今渡北小学校	小1	183	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	16	火	岐阜市	岐阜市立合渡小学校	小1	72	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	17	水	関市	関市立洞戸小学校	小1, 2	31	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	17	水	関市	関市立田原小学校	小1	63	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	17	水	七宗町	七宗町立神淵小学校	小1, 2	29	秋みつけ・体験活動
10	17	水	愛知県(大口町)	大口町立大口北小学校	小3	99	展示解説・展示セルフガイド
10	18	木	関市	関市立富岡小学校	児童	90	秋みつけ・展示セルフガイド
10	19	金	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	144	展示解説・展示セルフガイド
10	19	金	関市	関市立倉知小学校	小1	59	秋みつけ・展示解説
10	19	金	揖斐川町	揖斐特別支援学校	小学部	5	展示解説・展示セルフガイド
10	19	金	下呂市	下呂市立下原小学校	小5	12	展示解説・展示セルフガイド
10	23	火	愛知県(一宮市)	一宮市立大和西小学校	小4	91	展示解説・展示セルフガイド
10	23	火	笠松町	笠松町立下羽栗小学校	小1	46	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	23	火	関市	関市立倉知小学校	小2	70	展示解説・展示セルフガイド
10	24	水	岐阜市	岐阜県教育委員会	一般	15	施設利用
10	24	水	各務原市	各務原市立各務小学校	小1	36	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
10	24	水	中津川市	中津川市立坂本小学校	小4	129	展示セルフガイド
10	24	水	笠松町	笠松町立松枝小学校	小2	102	秋みつけ・展示セルフガイド・体験活動
10	25	木	愛知県(一宮市)	一宮市立大徳小学校	小3	72	展示セルフガイド
10	25	木	関市	関市立下有知小学校	小1	67	秋みつけ・体験活動
10	26	金	笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	44	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	26	金	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1	74	展示解説・秋みつけ
10	26	金	飛騨市	飛騨市立古川西小学校	小5	52	展示解説・展示セルフガイド
10	26	金	本巣市	本巣市立席田小学校	小1	58	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
10	27	土	岐阜市	第18回社会科課題追究学習展・第62回岐阜県児童生徒科学作品展	小～一般	175	作品展観覧
10	28	日	岐阜市	第18回社会科課題追究学習展・第62回岐阜県児童生徒科学作品展	小～一般	388	表彰式・作品展観覧
10	30	火	郡上市	郡上市立大和西小学校	小6	11	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	30	火	関市	関市立板取小学校	小1, 2	10	秋みつけ・体験活動
10	31	水	可児市	可児市立東明小学校	小2	38	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
10	31	水	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小2	60	展示セルフガイド・体験活動
10	31	水	富加町	富加町立富加小学校	小1	64	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	31	水	美濃市	美濃市中有知小学校	小1	47	秋みつけ・体験活動・展示解説・展示セルフガイド
11	1	木	愛知県(犬山市)	犬山市立犬山南小学校	小3	97	展示解説・展示セルフガイド
11	1	木	岐南町	岐南町立東小学校	小1	106	展示解説・展示セルフガイド
11	1	木	岐阜市	岐阜市立長良東小学校	小1	95	展示セルフガイド・秋みつけ・体験活動
11	1	木	関市	関市立富岡小学校	小2	77	秋みつけ・展示セルフガイド
11	1	木	安八町	安八町立金森小学校	小4	88	展示解説・展示セルフガイド
11	2	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1	66	秋みつけ・体験活動・展示セルフガイド
11	2	金	美濃市	美濃市立藍見小学校	小2	33	秋みつけ・体験活動・展示解説・展示セルフガイド
11	6	火	関市	関市立安桜小学校	小2	85	展示解説・展示セルフガイド
11	6	火	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1	83	展示解説・展示セルフガイド・体験活動
11	6	火	各務原市	各務原市立中央小学校	小1	65	展示解説・展示セルフガイド
11	7	水	岐阜市	岐阜市立芥見小学校	小1	55	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
11	7	水	岐阜市	岐阜県立希望ヶ丘特別支援学校	小1, 2	4	自由観覧
11	8	木		岐阜県博物館協会	一般	10	施設利用
11	8	木	川辺町	川辺町特別支援教育会	小学生	25	展示解説・展示セルフガイド
11	8	木	関市	関市立瀬尻小学校	小1	78	秋みつけ・体験活動
11	9	金	関市	関市立瀬尻小学校	小2	85	展示解説・展示セルフガイド
11	10	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 教育学部初等生活Ⅰ	大学生	12	自由観覧
11	11	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 教育学部初等生活Ⅱ	大学生	15	自由観覧
11	13	火	美濃加茂市	美濃加茂市立加茂野小学校	小1	124	展示解説・展示セルフガイド
11	13	火	各務原市	各務原市立鶴沼第一小学校	小1	114	展示解説・秋みつけ
11	13	火		岐阜県小中学校英語研究会	教員	80	施設利用
11	15	木	岐阜市	岐阜市立徹明さくら小学校	小1	49	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
11	18	日	美濃市	森林文化アカデミー	一般	3	自由観覧
11	20	火	可児市	可児市立旭小学校	小2	84	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
11	25	日	美濃市	森林文化アカデミー	一般	4	自由観覧
11	27	火	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1	66	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
11	27	火	岐南町	岐南町立西小学校	小1	96	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
11	28	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	23	体験活動・展示セルフガイド
11	28	水	関市	百年公園事務所 運営会議	一般	17	施設利用
11	29	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	27	体験活動・展示セルフガイド
11	30	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	27	体験活動・展示セルフガイド
11	30	金	池田町	池田町立池田中学校	中学生	18	施設利用・自由観覧
12	1	土	岐阜市	岐阜市立藍川中学校 美術部	中学生	10	施設利用
12	2	日	美濃市	森林文化アカデミー	一般	10	自由観覧
12	4	火	岐阜市	岐阜市小学校教頭会	教員	41	展示解説・体験活動
12	9	日	岐阜市	まーさキッズスマイル	小学生	27	展示解説・展示セルフガイド
1	6	日	関市	博物館友の会「七草委員会」	一般	25	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
1	9	水	関市	関市立瀬尻小学校	小3	78	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
1	18	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小学生	15	展示解説
1	23	水	関市	関市立富野小学校	小3	12	展示解説・展示セルフガイド
1	26	土	岐阜市	岐阜大学 教育学部	大学生	23	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
1	29	火	関市	関市立金竜小学校	小3	141	体験活動・展示解説・展示セルフガイド
1	29	火	岐阜市	造園緑化協会	一般	7	施設利用
1	30	水		博物館協会	一般	27	施設利用
1	31	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小学生	11	体験活動
2	8	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小学生	7	体験活動
2	8	金	関市	桐ヶ丘幼稚園	年長	65	展示解説・自由観覧
2	15	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	78	展示解説・展示セルフガイド
2	20	水		岐阜県小学校社会科研究部会	教員	53	施設利用
2	21	木		美濃・加茂地区理化部会	教員	15	施設利用
2	28	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小学生	52	施設利用
3	1	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小学生	33	施設利用
3	2	土	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	幼～一般	141	施設利用
3	5	火	美濃加茂市	大田第一保育園	年中・年長	35	展示解説・展示セルフガイド
3	5	火	関市	桐が丘幼稚園	年中	61	展示解説・自由観覧
3	5	火	美濃加茂市	古井第二幼稚園	年中・年長	38	展示解説・展示セルフガイド
3	6	水		岐阜県博物館協会	一般	24	施設利用
3	7	木	美濃加茂市	加茂野保育園	年長	55	展示セルフガイド
3	7	木	三重県	國學院大學	大学生	30	展示解説
3	8	金	美濃加茂市	蜂屋幼稚園	年中・年長	84	展示解説・自由観覧
3	8	金	美濃加茂市	山之上こども園	園児	49	展示解説・自由観覧
3	30	土	羽島市	チャイルド coco 羽島		6	展示解説・自由観覧

	団体数	人数
学校団体（幼保含む）	133	8,605
学校以外の団体	50	2,075
合計	183	10,680

⑥出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は13回(そのうち小中学校8回)であった。また、講師として招聘されたのは4回あった。招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

<出前授業>

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授業内容
平成30年 5月18日	郡上市立相生小学校	小4	18	郡上市立相生小学校	水生生物による環境調査活動、台風による増水のため中止
平成30年 6月19日	郡上市立大和第一北小学校	小3・4	14	郡上市立大和第一北小学校	水生生物による環境調査活動
平成30年 7月11日	関市立富野中学校	中3	19	関市立富野中学校	水生生物による環境調査活動
平成30年 8月 1日	多治見市三の倉市民の里地球村	小学生	25	多治見市三の倉市民の里地球村	化石レプリカづくり・恐竜骨格を描く
平成30年 8月 5日	藍見地域ふれあいセンター	小学生	16	藍見地域ふれあいセンター	化石レプリカづくり・恐竜骨格を描く
平成30年 8月 5日	地頭方支部 中公民館	小・中学生・一般	30	地頭方支部 中公民館	化石レプリカづくり・恐竜骨格を描く
平成30年10月13日	岐阜市立藍川北中学校	中学生	9	岐阜市立藍川北中学校	化石レプリカづくり・化石取り出し・恐竜骨格を描く
平成30年10月27日	各務原市立尾崎小学校	小学生	61	各務原市立尾崎小学校	化石レプリカづくり・恐竜骨格を描く
平成30年11月 4日	岐阜市岩小学校	小5～小6	60	岐阜市岩小学校	化石レプリカづくり
平成30年11月15日	岐阜市立且格小学校	小学生	56	岐阜市立且格小学校	化石レプリカづくり
平成30年12月 1日	岐阜市立三輪中学校	中学生	17	岐阜市立三輪中学校	化石レプリカづくり・化石取り出し・恐竜骨格を描く
平成30年12月12日	各務原市東ライフデザインセンター	一般	30	各務原市東ライフデザインセンター	化石レプリカづくり・恐竜骨格を描く
平成31年 2月13日	岐阜県立岐阜高等学校	高校生	8	岐阜県立岐阜高等学校	地質学に関する講義・実習
			合計	363	

<講師派遣>

期 日	依 頼 元	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成30年 5月11日	岐阜県教育委員会	教職員	8	博物館活用講座
平成30年 5月13日	MIHO MUSEUM	一般	100	シンポジウム「能楽と面の進展 各地に残る面から」
平成30年 6月17日	加茂郡七宗町	一般	38	ほたる観察会
平成30年 6月21日	坂祝町教育委員会	一般	40	まなびいかも丸講座「博物館のお仕事」
平成30年 7月 7日	富加町教育委員会	小4～中3	30	プラネット・ビュー「天体望遠鏡を作ってみよう！」
平成30年 7月21日	富加町教育委員会	小学生以上	90	プラネット・ビュー「地球の外側をのぞいてみよう」
平成30年 7月24日	山県市高富中央公民館	小・中学生	47	化石掘り出し体験、恐竜のお話
平成30年 7月26日	揖斐川町歴史民俗資料館	小学生親子	24	勾玉を作ろう
平成30年 7月27日	揖斐川町歴史民俗資料館	小学生親子	18	勾玉を作ろう
平成30年 8月 8日	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	小4～小6	20	恐竜足跡化石産地現地解説、恐竜のお話
平成30年 8月11日	瑞浪市化石博物館	小4以上	25	夏の化石教室2018～化石マイスター養成編～
平成30年 8月16日	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	小4～小6	17	恐竜足跡化石産地現地解説、恐竜のお話
平成30年10月24日	岐阜県教育委員会	教職員	15	博物館活用講座
平成30年12月 2日	兵庫県丹波市	一般	250	恐竜の足跡・生痕化石に関するお話
平成30年12月21日	岐阜県職員研修所	岐阜県職員	45	博物館・図書館連携企画展視察「歌川国芳 木曾街道六十九次」
平成31年 1月12日	各務原市教育委員会	小5～小6, 中1	40	各務原の地質について
平成31年 1月24日	関市立桜ヶ丘小学校	小学生	30	昔の道具体験 (炭火アイロン、洗濯板など)
平成31年 2月16日	垂井町観光協会事務局	一般	60	美濃池田家について
平成31年 2月24日	藍見地域ふれあいセンター	小学生親子	30	火おこし体験
平成31年 3月23日	こくふ歴まちネット	中学生以上	50	「国府遺産コミュニケーター」養成講座(「仏像」講座)
			合計	977

⑦資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数	
自	木曾三川事務所	鳥類標本	平成30年 4月27日	平成30年 5月 8日	27	
	(株) 岩崎総合研究所	3D透明恐竜頭骨模型 (データ)	平成30年 5月 7日	平成31年 3月31日	1	
	各務原市立中屋保育所	動物標本	平成30年 5月10日	平成30年 5月12日	9	
	郡上市文化財保護審議会	化石レプリカ作成キット	平成30年 5月19日	平成30年 5月19日	40	
	岐阜県立長良特別支援学校	頭骨標本	平成30年 6月 9日	平成30年 6月22日	4	
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	平成30年 6月20日	平成30年 9月 8日	9	
	高山市立花里小学校	化石レプリカ作成キット	平成30年 7月 6日	平成30年 7月18日	40	
	岐阜市長良川鶺鴒伝承館	アユ (レプリカ)	平成30年 7月10日	平成30年 9月 4日	15	
	郡上市文化財保護審議会	化石レプリカ作成キット	平成30年 8月 6日	平成30年 8月 6日	50	
	岐阜県立岐山高等学校	化石レプリカ作成キット	平成30年 8月28日	平成30年 9月 6日	20	
	揖斐小学校学童	化石レプリカ作成キット	平成30年 8月28日	平成30年 8月31日	3	
	関市立小金田中学校	哺乳類頭骨標本	平成30年 9月 5日	平成30年 9月14日	14	
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類剥製標本	平成30年 9月15日	平成30年12月13日	6	
	岐阜市立青山中学校	鳥類骨格標本	平成30年10月10日	平成30年11月 3日	2	
	岐阜県立岐阜農林高等学校	剥製及び液浸標本	平成30年10月11日	平成30年10月22日	26	
	大垣市立江並中学校	頭骨標本	平成30年10月14日	平成30年10月27日	19	
	岐阜かがみかはら航空宇宙博物館	アエンデ隕石	平成30年10月18日	平成30年11月30日	1	
	各務原市立中央中学校	骨格及び化石標本	平成30年10月21日	平成30年10月28日	8	
	然	御嵩町立御嵩小学校	鳥類標本	平成30年11月 4日	平成30年11月18日	2
		岐阜大学教育学部	ギフチョウ (画像)	平成30年11月17日	平成30年11月17日	9
岐阜県立岐阜農林高等学校		鳥類標本	平成30年12月 4日	平成30年12月22日	11	
岐阜県立飛騨高山高等学校		化石レプリカ作成キット	平成30年12月 9日	平成30年12月24日	30	
岐阜県立長良特別支援学校		化石レプリカ作成キット	平成30年12月 9日	平成30年12月16日	8	
可児市立蘇南中学校		骨格標本	平成30年12月21日	平成30年12月27日	5	
山県市立伊自良北小学校		動物標本	平成31年 1月20日	平成31年 1月27日	51	
大垣市立小野小学校		化石レプリカ作成キット	平成31年 2月16日	平成31年 2月24日	55	
人		MIHO MUSEUM	根尾春日神社能面ほか	平成30年 2月16日	平成30年 6月14日	22
		高山陣屋管理事務所	トビ (川狩り用) 他	平成30年 4月 1日	平成31年 3月31日	15
	奈良国立博物館	紺地白鷺文繡狩衣	平成30年 4月 3日	平成30年 6月 8日	1	
	関市	刀 銘 濃州赤坂住兼元 他	平成30年 4月 9日	平成30年 7月 6日	3	
	済法寺	木造十一面観音立像 (レプリカ) 他	平成30年 5月 1日	平成31年4月30日(予定)	5	
	三井記念美術館	菩薩坐像 (ポジ)	平成30年 5月11日	平成30年12月16日	2	
	(有)プランナツ	瓦版中山道御下向御休泊御本陣附 (画像)	平成30年 8月18日	平成31年 1月31日	1	
	三井記念美術館	菩薩坐像	平成30年 8月25日	平成30年12月16日	2	
	敬文舎	葛飾北斎筆「諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし」(画像)	平成30年10月12日	平成30年11月 5日	1	
	新潮社	江馬細香筆「雪中生筍図」(画像)	平成31年 1月24日	平成31年 2月22日	1	
	個人	徳川秀忠御内書 (画像)	平成31年 2月 1日	平成31年 3月30日	1	
		合 計			519	

⑧刊行物

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	
岐阜県博物館報第 41 号	30. 4. 1	A 4 39 頁	800	
岐阜県博物調査研究報告第 39 号	31. 3. 31	A 4 45 頁	600	
平成 30 年度 展示・催し物年間スケジュール	31. 3. 31	A 4 3ツ折	40,000	
教員のための博物館の日	30. 4. 1	A 4 両面	2,000	
【展覧会刊行物】				
移動展「恐竜の世界」	ポスター	30. 4. 11	B 2	1,400
移動展「恐竜の世界」	チラシ	30. 4. 11	A 4 両面	26,000
特別企画展「兼定 刀都・関の名工」	ポスター	30. 4. 27	B 2	3,000
特別企画展「兼定 刀都・関の名工」	チラシ	30. 4. 27	A 4 両面	100,000
特別企画展「兼定 刀都・関の名工」	図録	30. 4. 27	A 4 120 頁	600
明治 150 年記念ミニ展示	ポスター	30. 6. 9	B 2	1,400
明治 151 年記念ミニ展示	チラシ	30. 6. 9	A 4 両面	29,000
特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて」	ポスター	30. 7. 6	B 2	1,800
特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて」	チラシ	30. 7. 6	A 4 両面	110,000
特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて」	図録	30. 7. 6	A 4 60 頁	600
特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家」	ポスター	30. 9. 14	B 2	1,800
特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家」	チラシ	30. 9. 14	A 4 両面	110,000
特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家」	図録	30. 9. 14	A 4 94 頁	1,200
連携企画移動展「天然記念物の祖 三好 学」	チラシ	30. 10. 10	A 4 両面	34,000
連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」	ポスター	30. 11. 2	B 2	1,400
連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」	チラシ	30. 11. 2	A 4 両面	26,000
企画展「化石が語る繁栄と絶滅」	ポスター	30. 11. 23	B 2	1,600
企画展「化石が語る繁栄と絶滅」	チラシ	30. 11. 23	A 4 両面	34,000
連携企画展「芝居大国！岐阜」	ポスター	31. 1. 12	B 2	1,400
連携企画展「芝居大国！岐阜」	チラシ	31. 1. 12	A 4 両面	26,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション 第 173 号	チラシ	30. 4. 7	A 4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 174 号	チラシ	30. 6. 9	A 4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 175 号	チラシ	30. 7. 8	A 4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 176 号	チラシ	30. 10. 6	A 4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 177 号	チラシ	30. 12. 8	A 4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 178 号	チラシ	31. 2. 16	A 4 両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	31. 3. 31	B 2	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	31. 3. 31	A 4 両面	14,000

⑨図書館資料（平成 31 年 3 月末現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	22,321	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,859	
児 童 書	1,049	
博 物 館 資 料	5,607	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	34,836	

(2) 広報活動

入館者及び館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

①館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2か月中に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

②館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、全国紙のウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

④情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。各イベントの面白さや意義などを伝えることで、参加者の増加につながった。

⑤SNSによる積極的な情報の発信

ホームページに組み込んである当館公式ツイッターと公式 Facebook ページを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃から SNS に慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、特に兼定展の際にはいわゆる「刀剣女子」と称される客層への広報に大きな効果を発揮した。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

⑥人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスマスさん」を館内外の掲示や SNS へ登場させて、広報大使を務めさせた。初の試みとして、夏から秋にかけてインターネット上で投票が行われた「ミュージアムキャラクターアワード 2018」に博くんを立候補させた。その結果、全国に博くんファンが増えていき、見事全国 10 位に入賞し表彰された。来館者アンケートには、博くんを通じて当館に興味を持ち来館した、との声もいくつかあった。

(3) 博物館実習（大学生向け）

7月24日（火）から7月28日（土）までの5日間、岐阜女子大学（3名）、静岡大学（1名）、岐阜聖徳学園大学（1名）、同志社大学（1名）、八洲学園大学（1名）の5大学から7名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文5名、教育普及2名であった。実習内容は下記の通りである。

<実習内容>

第1日目	実習開講式 館長講話 学芸部長講話 岐阜県博物館の概要・博物館学芸員の仕事 自然係及び教育普及係の仕事・自然資料の概要
第2日目	人文係の仕事・人文資料の概要 マイミュージアムギャラリー係の仕事

第2日目	分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 職場体験学習（中学生）・企業内実習（高校生）

近隣の中学校4校から職場体験学習の依頼を受け、各校2～3日間の日程で、各4～5名の生徒を受け入れた。時期は10～11月で、「広報物の発送作業」「掲示物製作」「来館者対応」「小学校団体対応」などの教育普及業務を体験させた。

岐阜清流高等特別支援学校から企業内実習の依頼を受け、9月と11月に1名ずつ受け入れた。毎週木曜日の全4日間の日程で、体験内容は上記同様の教育普及業務とした。

(5) 教員のための博物館の日

平成20年度から国立科学博物館の呼びかけで始まった「教員のための博物館の日」を開催した。当館での開催は3年目となる。開催日は昨年度と同じく8月前半の2日間とし、この2日間の教職員の入館料及び体験料は無料とした。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法をとった。また、ホームページでの開催告知、県内の高等学校・特別支援学校への電子メールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布などで周知にも努めた。ただし、昨今の働き方改革の流れにより市町教育委員会主催の夏季休業中教職員向け研修・講座の開講期間が早まったため、今年度はその研修・講座の一つとしての本事業の利用はなかった。

(開催日・参加人数)

	開催日・時間	参加人数
1日目	8月3日（金）10:00～16:00	45名
2日目	8月9日（木）10:00～16:00	21名

(実施内容)

特別展解説：「理科室からふるさとの自然を見つめて」
常設展解説：「人文展示室」「自然展示室1」「自然展示室2」
解説員解説：「恐竜」「鶴飼」「合掌造り」「輪中」
マイミュージアムギャラリー解説：「懐かしの漫画・アニメ」
教育普及活動紹介：授業で活用できる資料や講座等紹介
わくわく体験：「化石レプリカづくり」「万華鏡づくり」

(6) 三重県総合博物館（MieMu）との交流事業

今年度も、互いに職員が出向いて講演会や体験ワークショップを行った。

(実施内容) 平成30年度

岐阜県博物館【三重県総合博物館（MieMu）からの派遣】
・講演会（10/6）「お伊勢参りの今昔 ～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる～」 講師：太田 光俊（三重県総合博物館 学芸員）
三重県総合博物館（MieMu）【岐阜県博物館からの派遣】
・講演会（6/3） 「世界最大の二枚貝 ～シカマイアとは何～」 講師：松本 正樹（岐阜県博物館 学芸員）

9 利用状況

(1) 利用者数

平成30年度は、総利用者数は249,375人(H.29:133,219人)で、内訳は館内への入館者が60,744人(H.29:49,425人)、移動展が70,800人、移動博物館(近隣大型商業施設での開催)が114,352人等であった。本館への入館者数は23%アップ、総利用者数が87%アップであった。

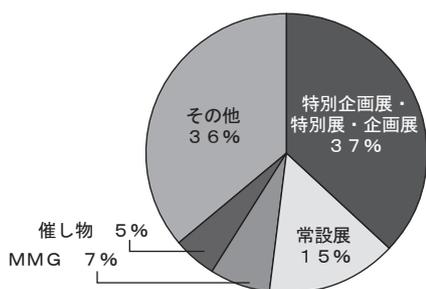
また、団体入館者は、183団体10,680人で、博物館入館者総数の18%を占め、10月が一番多く62団体であった。

月	館内利用					館内及び館外利用	
	入館者数	一般	大学	高校生以下	一日平均	総利用者数	一日平均
4	3,781	2,359	174	1,248	145	19,583	753
5	7,219	4,294	211	2,714	278	27,043	1,040
6	11,042	8,775	361	1,906	425	16,506	635
7	3,105	1,705	148	1,252	141	35,304	1,605
8	5,785	3,219	44	2,522	214	57,860	2,143
9	3,489	2,312	37	1,140	152	21,320	927
10	7,563	3,297	44	4,222	291	39,381	1515
11	6,252	3,517	49	2,686	240	14,497	558
12	1,835	1,224	25	586	76	3,156	132
1	2,849	1,708	49	1,092	119	4,390	183
2	3,401	2,299	13	1,089	142	5,469	228
3	4,423	2,982	47	1,394	164	4,866	180
計	60,744	37,691	1,202	21,851	202	249,375	828

特別企画展／特別展	期 間	一 般	大学生	高校生以下	計
兼定 刀都・関の名工	4/27(金)～6/24(日) (51日間)	13,186	585	5,239	19,010
理科室からふるさとの自然を見つめて ～知れば知るほど面白い標本の世界～	7/6(金)～9/2(日) (48日間)	4,785	192	3,947	8,924
信長・秀吉・家康と美濃池田家 —大御乳・池田恒興・輝政の戦い—	9/14(金)～11/11(日) (51日間)	5,973	101	6,581	12,655

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函する方法で行っているものである。平成30年度の回収数は前年度より約1.6倍増しており、来館者の当館に対する関心や期待度が高かったものと考えられる。



【図1 来館目的(複数選択可 n=351、H30年4月～H31年3月)】

来館目的では、図1に示すように、「特別企画展・特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。昨年度の結果と比較すると、「特別企画展・特別展・企画展」の割合が、昨年度の24%から37%に大きく増加した。これは「特別企画展 兼定 刀都・関の名工」の開催など魅力的なテーマの展示が企画され、多くの来館者の関心を集めたためと考えられる。「その他」の中には「百年公園に来たので」「博物館に興味を持ったので」が含まれ、共に約15%の割合であった。これは、百年公園内での掲示や各種メディアへの情報提供、民間施設など館外でのイベント開催・出展などによる広報活動が功を奏したのと考えられる。

【表1 来館者の満足度(選択式 n=277、H.30年4月～H.31年3月)】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。
このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足度、不満足度として示す。
満足度の列の()内の数値は、無回答分を除いて算出した満足度を表す。

内 容	満足度	不満足度	無回答
特別展・企画展	88 (94)	5	7
常設展	88 (94)	5	7
MMG	71 (95)	4	25
展示解説	76 (95)	4	20
催し物	64 (94)	4	32

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも94%以上と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展の良さにも目を向けていただいていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、ナイトミュージアムでの博物館探検シートなども好評であった。

無回答の割合が、約20～30%あるのは、回答者の来館日にその内容が開催されていなかったこと、ご覧いただけなかったことも考えられる。各内容の魅力を館内外でさらに広報していくことが今後の課題である。

記述式による回答には、建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、ショップの営業やカフェの併設などハード面に関する要望の一方で、より子どもが楽しめるプログラムや体験型イベントの増設の要望もあった。館内外にある魅力的な資源(物的、人的、環境的など)の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実に努めていく。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

平成 30 年度の一般会員数は 246 名、後援会員は 6 団体である。会員数は昨年より横ばい状態である。これは、百年公園駐車場が無料になったことと特展の内容のよさに起因し加入者は増えているが、一方で、継続会員の高齢化が進み、退会者が多いことによる。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

平成 30 年度の主な事業、行事は次の通りである。

①会議

春季理事会・総会 5月10日(木)
秋季理事会 10月11日(木)
会長・副会長会議 3月9日(土)

②各種委員会

会報委員会 4月19日(木)
七草委員会 11月24日(土)、1月5日(土)

③広報誌の発行

「友の会報」は 122 号(6月)、123 号(10月)、124 号(2月)の年 3 回発行した。各誌 A 4 判 6 頁。各 270 部発行した。

④図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「兼定 刀都・関の名工」「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」 「信長・秀吉・家康と美濃池田家一大御乳・池田恒興・輝政の戦い」の 3 種類の図録を刊行した。「兼定 刀都・関の名工」は県外からの電話注文も多く大好評だった。在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と以下の 3 つの外部施設での委託販売が中心である。「下呂温泉博物館」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）。

また、刊行後 10 年を経過した図録のうち展示に関係する一部の図録については、価格を値下げし販売した。

⑤博物館との共催事業の実施

・特別行事「七草がゆを食べよう（1月6日）」は好天に恵まれ 177 人の来客があった。友の会員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあって、おいしい七草がゆを来客者に提供することができた。館内では、正月遊びの遊具を楽しむことも出来、大変好評であった。

・わくわく体験

児童・生徒を対象とした化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり等、サポーターの協力も得て、原則月 2 回、日曜日に実施し、1,993 人の参加者があった。また館外での出張けんぱく教室等でも実施し、延べ年間 3,529 人の参加者があった。

・けんぱく教室「まが玉をつくろう」「水晶ジオード割り体験」「昆虫標本をつくろう」など

⑥友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館入館者は、常設展 210 人、特別展期間 330 人の計 540 人で、その入館料（団体料金相当）を友の会で助成した。

⑦探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和 61 年以降今日まで、国内探訪として、歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を 81 回実施した。平成 4 年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに 15 回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

平成 30 年度の探訪の旅は以下の通りである。

- ・「渡辺嶺山と豊橋自然史博物館を訪ねて」
6月3日(日)参加者38名
- ・「秦の始皇帝兵馬俑と西安・桂林の世界遺産めぐりの旅」
11月12日(月)～16日(金)参加者13名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

平成 29 年度に新たに設けた 3 つの専門部会（もの・ひと・こと）及び 5 つの地域ブロック部会（岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨）により、ミュージアムレスキューなど社会的課題への対応や会員研修、地域文化に即した事業等を行っている。

平成 31 年 3 月現在、会員館は 125 館、個人会員は 11 名。主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、日比野克彦、平井克昭、高橋秀治、尾崎啓介、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/13	第 1 回企画委員会
4/26	協会監査
5/25	第 1 回理事会、岐阜県博物館協会通常総会 県民文化講演会 もの部会ワークショップ
8/ 1	東海地区博物館連絡協議会・ 日本博物館協会東海支部理事会・総会（愛知県）
8/ 2	中濃ブロック部会公開講座（第 150 回）
8/ 8	中濃ブロック部会公開講座（第 151 回）
9/30	機関紙『岐阜の博物館』第 183 号発行
9/24	東濃ブロック部会公開講座（第 152 回）
10/19	第 43 回東海三県博物館協会研究交流会（岐阜県）
10/30	第 95 回会員研修会
11/10	岐阜ブロック部会街中散策会
11/28～30	第 66 回全国博物館大会（東京都）
12/15	岐阜ブロック部会施設見学会
1/19	中濃ブロック部会公開講座（第 153 回）
1/26	中濃ブロック部会公開講座（第 154 回）
1/30	第 2 回企画委員会
3/ 6	第 2 回理事会
3/15	第 96 回会員研修会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』第 184 号発行
7/28～9/25	関市の水害における汚損アルバム写真等の処置活動

IV 利用案内 (平成31年度)

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分 (入館は16時まで)
11月～3月 9時30分～16時30分 (同上)

- 入館料

区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	330(270)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
小中高生	無料	無料	

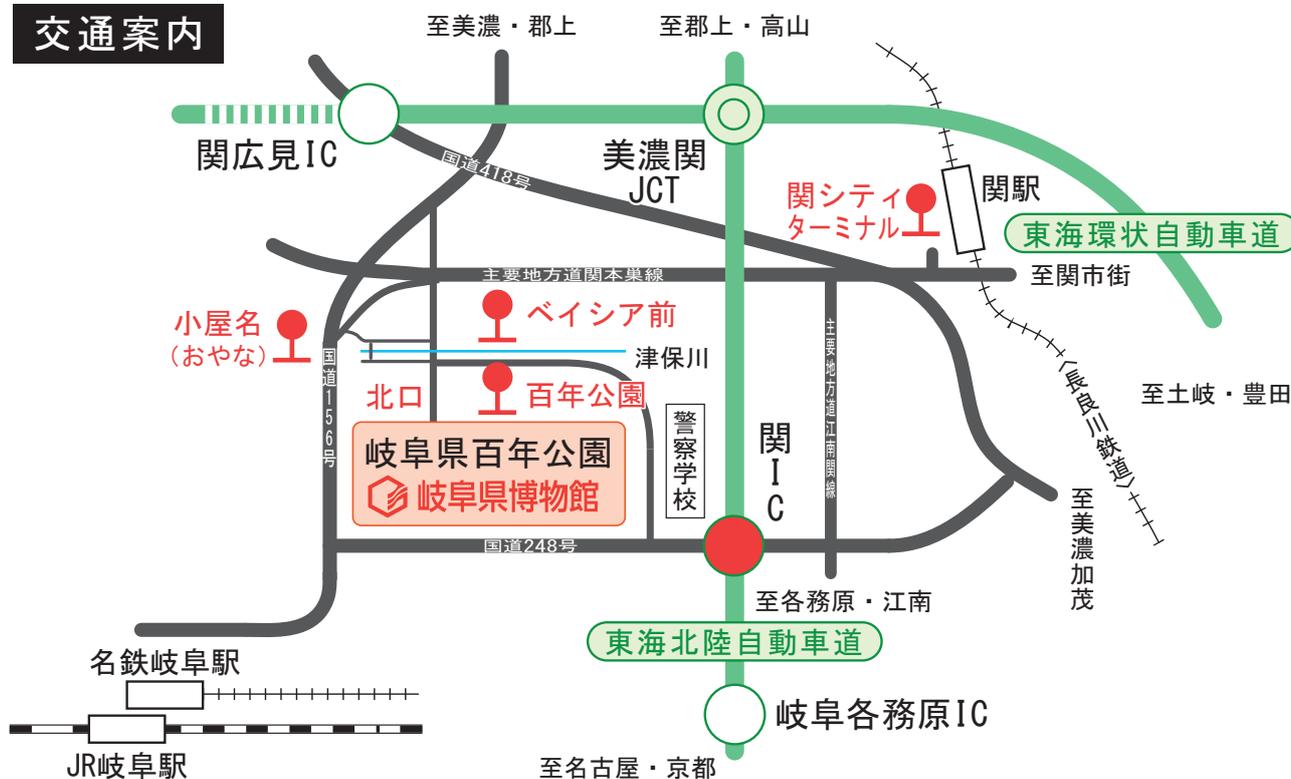
() は20名以上の団体

※消費税が10%になる場合、一般の通常料金が340(280)円になります。

- 休館日
 - ・月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合は、その直後の平日)
 - ・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

- 駐車場 岐阜県百年公園駐車場 (北口駐車場) をご利用ください。

交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス (小屋名バス停下車 徒歩20分)
 - ※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。(岐阜関線、岐阜美濃線)
 - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(岐阜関線)
- 関シティバス (百年公園バス停下車 300m)
 - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(わかくさ・小金田線、わかくさ・千疋線)

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場 (無料) をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができませんので、百年公園管理事務所でお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km (勾配有り) です。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第42号

平成31年(2019)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL 〈0575〉28-3111

印 刷 株式会社 大一プリント

